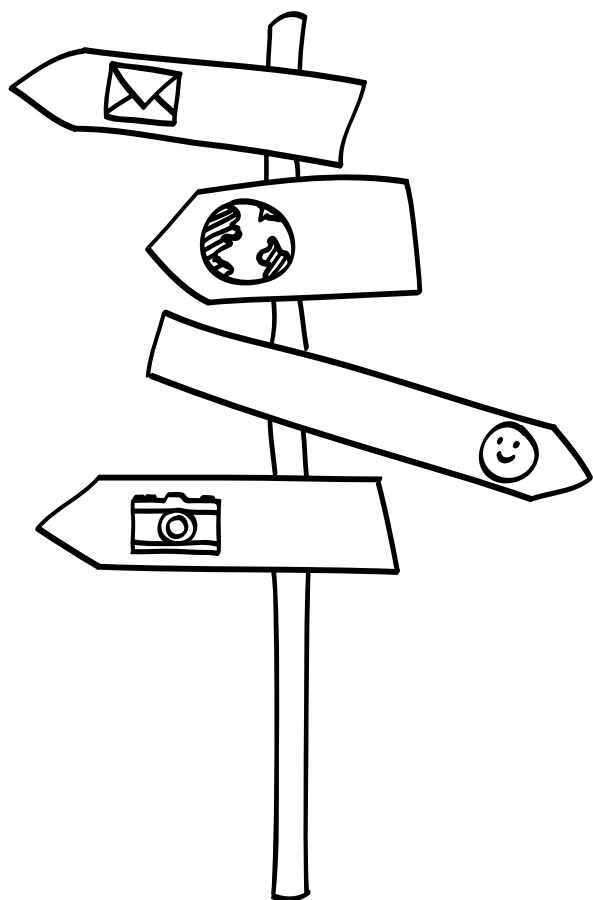
htc J butterfly

HTL21

取扱説明書 詳細版

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、HTC J butterfly HTL21(以下、「HTL21」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『クイックスタートガイド』(本体付属品)またはauホームページからダウンロードできる『取扱説明書(詳細版)』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書では本製品に付属するクイックスタートガイドおよび設定ガイド、auホームページからダウンロードできる取扱説明書(詳細版)(本書)を総称して『取扱説明書』と表記します。

操作説明について

■ クイックスタートガイド(本体付属品)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、auホームページより『取扱説明書(詳細版)』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 取扱説明書ダウンロード

『クイックスタートガイド』、『設定ガイド』、『取扱説明書(詳細版)』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

memo

◎PDFファイルは、以下の操作でもダウンロードできます。
ホーム画面で[▦]→[取扱説明書]→画面の指示に従ってダウンロードします。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップまでお問い合わせください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

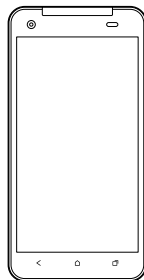
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

- クイックスタートガイド
- 設定ガイド
- 保証書（本体）

以下のものは同梱されません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- イヤホン
- microSDメモリカード

memo

◎指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。

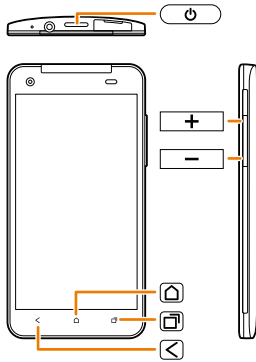
◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[▦]→[電話]→「141」を入力→[ダイヤル]	ホーム画面で「▦」をタップして「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「ダイヤル」をタップします。
⧉→起動するアプリをタップ	⧉をタップして最近使用したアプリを表示させ、左右にフリックして起動するアプリを選び、タップします。

※ タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く触れて選択する操作です。

■ 掲載されているイラスト･画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面　本書の表記例

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは、省略されています。

memo

◎本書では、本体カラー「Red」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のボタンや画面とは字体や形状が異なっていたり、一部省略している場合があります。また、本書のイラストと本製品の形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

◎本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震･雷･風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失･誤用･その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化･消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障･修理･その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害･逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化･消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損に関して、当社ではデータの復旧･回復作業は行っておりません。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）･沖縄セルラー電話（株）
輸入元：HTC NIPPON株式会社
製造元：HTC Corporation

■ お知らせ

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷：失明･けが･やけど（高温･低温）･感電･骨折･中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2　傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど（高温･低温）･感電などを指します。
※3　物的損害：家屋･家財および家畜･ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくこと（強制）を示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC/おサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。
(NFC/おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。)

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、カード挿入口カバーなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ(別売)に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

ペットが本製品に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
    - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
    - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
    - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
    - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

撮影ライト(フラッシュライト)をご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト(フラッシュライト)点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト(フラッシュライト)を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
背面	ポリカーボネートプラスチック	—
表面	ガラス	ハードコート処理
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
カメラレンズ周り	アルミニウム	アルマイト処理
外部接続端子カバー／カード挿入口カバー	ポリカーボネート	—
フラッシュライト	ポリカーボネート	—
受話口(レシーバー)メッシュ	プラスチック	不連続蒸着処理
受話口(レシーバー)	プラスチック	—
側面メッシュ	プラスチック	—
音量ボタン	プラスチック	不連続蒸着処理
電源ボタン	アルミニウム	アルマイト処理

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

microSDメモリカードスロットやトレイの挿入口、外部接続端子、ステレオイヤホン端子に液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

イヤホンなどを持って本体を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

夏期に閉めきった車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。本体が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、本体が変形し故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- ACアダプタ(別売):AC100～240V

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定のACアダプタ(別売)の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定のACアダプタ(別売)の電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。

指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。

au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5相当)を発揮するために、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)やオプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの浸入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  - HTL21本体
  - au Micro IC Card (LTE)(HTL21本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 充電中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に充電を中止することがあります。

■ 本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中は、ご使用状況によっては本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが長時間触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が下記の方法で確認できます。
  ▶ ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]→[法規情報]→[認証]
  本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。

● 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
● 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
● 本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
● ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
● 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
● ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
● 外部接続端子に指定のmicroUSBケーブル（別売）を接続するときは、外部接続端子に対して指定のmicroUSBケーブル（別売）のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
● 外部接続端子に指定のmicroUSBケーブル（別売）を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
● 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
● 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
● microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
● microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
● au Micro IC Card (LTE)のトレイの挿入口には、au Micro IC Card (LTE)を直接挿入したり、トレイ以外のものを挿入したりしないでください。
● 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
● 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
● ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
● 光センサー／近接センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
● 光センサー／近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

● タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
● ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
● 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
● ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
● ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

● 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
● 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
● 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  • フル充電状態（充電完了後すぐの状態）
  • 電池残量なしの状態（本製品の電源が入らない程度消費している状態）
  • 高温多湿の状態
● 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
● 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
● 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

● ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。
● 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
● 指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)／トレイについて

● au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
● au Micro IC Card (LTE)のトレイの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
● 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
● au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
● au Micro IC Card (LTE)およびトレイにシールなどを貼らないでください。
● 取り外したau Micro IC Card (LTE)のトレイはなくさないようにご注意ください。

■ カメラ機能について

● カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
● 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
● 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
● 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
● カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ(ワンセグ)機能について

● 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
● 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

● お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
● 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

◎ ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

■ PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

■ ロックNo.(NFC／おサイフケータイロック)

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。
- 画面ロック
- NFC／おサイフケータイロック

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[au ICカードロックを設定]→[au ICカードをロック]と操作してチェックを付けると、PINコードの入力が必要になります。また、「au IC PINを変更」をタップすると、お客さまの必要に応じてPINコードを4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

防水性能に関する注意事項

本製品は外部接続端子カバー、カード挿入口カバーが完全に閉じた状態でIPX5※相当の防水性能を有しております（当社試験方法による）。具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※ IPX5とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

memo

◎ 利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての重要事項

- 水などの液体に浸けないでください。
- 外部接続端子カバーやカード挿入口カバーをしっかり閉じた状態にしてください。
  - 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - 本体とカバーの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - 手や本体が濡れている状態での外部接続端子カバーやカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。

  ※ 外部接続端子カバーとカード挿入口カバーの閉じかたは「外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを開く／閉じる」（▶ P.17）をご参照ください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

砂／泥

- お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

■ 快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に電源ボタンと音量ボタン内の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。
- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、本製品に水滴がついているとき、または手が濡れている状態での外部接続端子カバーやカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけないでください。
- 洗うときは、外部接続端子カバーやカード挿入口カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。
- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■ 共通注意事項

- **外部接続端子カバーやカード挿入口カバーについて**

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバーはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。
- **水以外が付着した場合**

  万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

  汚れた場合、ブラシなどは使用せず外部接続端子カバーやカード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- **水に濡れた後は**

  水濡れ後は水抜きをし、本体に付着した水分を乾いた清潔な布でよく拭き取ってください。

  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）
- **パッキンについて**

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバー周囲のパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバーを閉める際はパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、パッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着した場合は防水性能を維持できなくなる場合があります。

  外部接続端子カバーやカード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、パッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- **防水性能を維持するための部品の交換について**

  お近くのauショップまでご連絡ください。

  なお、部品の交換は有償になる場合があります。
- **充電について**

  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

  付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- **防水性能について**

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口・シャワーなど）でのご使用はおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。

  洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- **耐熱性について**

  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

- **衝撃について**
  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの対処について

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
次の手順で乾燥させてください。
①本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。
②乾いたタオル・布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置して乾燥させてください。
※ 乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。
- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内の無線規格およびFCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能：2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS4/OF4

- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36,40,44,48ch）
W53（5.3GHz帯／52,56,60,64ch）
W56（5.6GHz帯／100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

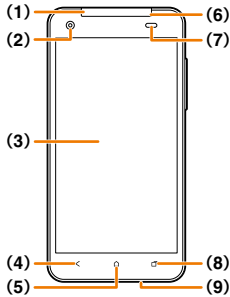
Google Play／au Market／アプリについて

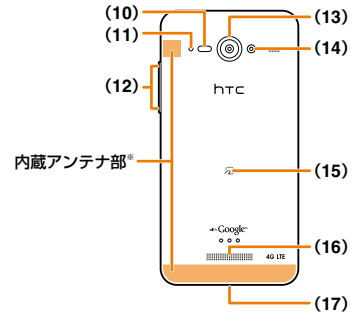
- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

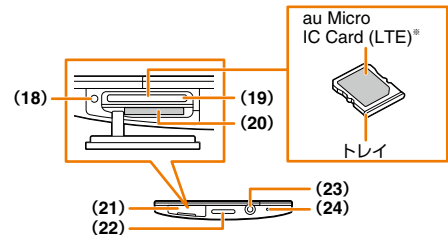
ご利用の準備

各部の名称と機能

■ 正面

- **(1) 受話口(レシーバー)**:相手の声がここから聞こえます。
- **(2) 正面カメラ**:自分を撮影するときなどに使用します。
- **(3) ディスプレイ(タッチパネル)**:指で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやズームなどの操作ができます(▶ P.22)。
- **(4) 戻るボタン**:前画面に戻ります。
- **(5) ホームボタン**:現在の画面表示からホーム画面(▶ P.23)に戻ります。
  - ホーム画面でタップすると、拡張ホーム画面が一覧表示されます(▶ P.23)。
- **(6) 通知ランプ**:充電状態を確認したり、未確認の通知があることをお知らせします(▶ P.24)。
- **(7) 光センサー/近接センサー**:光センサーは、周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動的に調節します。近接センサーは、通話中に顔などの接近を検知し、タッチパネルの誤操作を防ぎます。
- **(8) タスクボタン**:最近使用したアプリを表示します。
- **(9) 送話口(マイク)**:自分の声をここから伝えます。

■ 背面

※ アンテナは、本体に内蔵されています。通話/通信品質が悪くなりますので、次の点にご注意ください。
- 通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
- 内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。

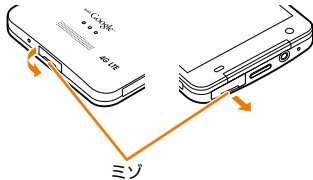
- **(10) 赤外線ポート**:赤外線通信に使用します。
- **(11) 通知ランプ**:充電状態、未確認の通知があることをお知らせします。
- **(12) 音量ボタン**:着信音量や受話音量、メディアの音量などを調節します。
  - ＋:音量大ボタン
  - −:音量小ボタン
- **(13) メインカメラ**:静止画や動画を撮影するためのカメラです。
- **(14) フラッシュライト**:ライトとして使用します。カメラ撮影時にも使用できます。
- **(15) FeliCaマーク**:NFC/おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。
- **(16) スピーカー**:スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音、着信音などを聞くことができます。
- **(17) 外部接続端子**:指定の充電用機器(別売)や指定のmicroUSBケーブル(別売)などを接続します。

■ 上側面

※ au Micro IC Card (LTE)の取り扱いについては、「au Micro IC Card (LTE)を取り付ける/取り外す」(▶ P.17)をご参照ください。

- **(18) トレイ取り出し穴**:トレイを取り出すときに使用します。
- **(19) トレイ**:au Micro IC Card (LTE)を取り付けます。
- **(20) microSDメモリカード**:microSDメモリカードを取り付けます。
- **(21) カード挿入口カバー**
- **(22) 電源ボタン**:長押しで電源を入れます。電源が入っているときは、押すたびにスリープモード(▶ P.19)をオン/オフします。
  - 2秒以上長押しすると携帯電話オプション画面が表示されます。電源を切ったり機内モードを設定できます。
- **(23) ステレオイヤホン端子**:イヤホン(別売)を接続します。
- **(24) セカンドマイク**:通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制するためのマイクです。

外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを開く／閉じる

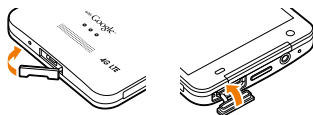
外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを開く

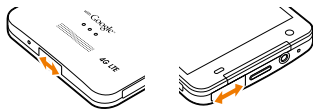
1　ミゾに指（爪など）をかけ、矢印の方向に開く

memo

◎カバーを強く引っ張らないようにご注意ください。特に外部接続端子に接続しているケーブル／コードを取り外す際にカバーを一緒に引っ張らないようご注意ください。

◎カバーを強く引っ張ると、カバーが変形したり、切れてしまったり破損の原因となります。

外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを閉じる

1　カバーを矢印の方向に押し込む

2　矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じる

防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)

IC(金属)部分

memo

◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。

◎au Micro IC Card (LTE)およびトレイを正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau Micro IC Card (LTE)およびトレイはなくさないようにご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていないと…

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「 」が表示されます。
- 電話をかける※／受ける
- パケット通信（LTE／3G）
- SMSの送受信
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- 本製品の電話番号の確認
- au ICカードロックの設定
- au ID設定

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

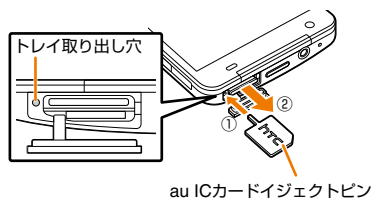
au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やau ICカードロックにより他人の使用を制限できます。（▶ P.73「au ICカードロックを設定する」）

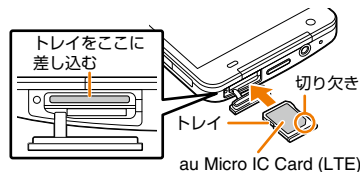
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

1　カード挿入口カバーを開く（▶ P.17）

2　トレイを引き出す

トレイ取り出し穴に付属のau ICカードイジェクトピンを差し込み（①）、トレイが少し出たら矢印の方向に引き出します（②）。

3　au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を下に向けてトレイに置き、トレイを矢印の方向に奥までまっすぐに差し込む

切り欠きの位置にご注意ください。

4　カード挿入口カバーを閉じる（▶ P.17）

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。
「au Micro IC Card (LTE)を取り付ける」（▶ P.17）と同様の操作でトレイを引き出し、au Micro IC Card (LTE)を取り外してください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

本製品には、microSDメモリカードやmicroSDHCメモリカードを取り付けることができます。

■ 取扱上のご注意

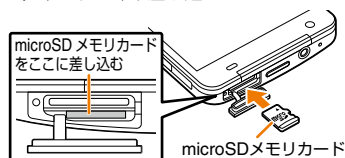
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、microSDメモリカードを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD／microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

memo

◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

microSDメモリカードを取り付ける

1　カード挿入口カバーを開く(▶ P.17)

2　microSDメモリカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

3　カード挿入口カバーを閉じる(▶ P.17)

memo

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

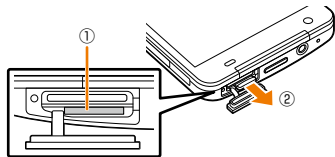
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す前に、メモリカードのマウントを解除してください。

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]
マウント解除の確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

2　カード挿入口カバーを開く(▶ P.17)

3　microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む(①)
カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

4　microSDメモリカードをまっすぐ引き出す(②)

5　カード挿入口カバーを閉じる(▶ P.17)

memo

◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

◎microSDメモリカードにインストールされたアプリは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

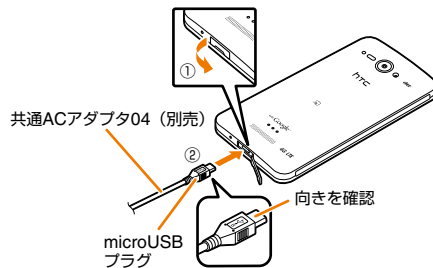
memo

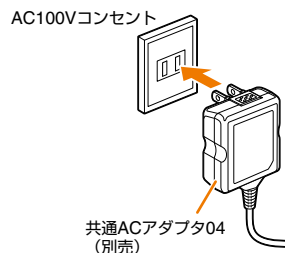
◎ご利用可能時間については、「主な仕様」(▶ P.101)をご参照ください。

指定の充電用機器(別売)を直接本体に接続して充電する

共通ACアダプタ04(別売)を使って充電する方法を説明します。

- 指定の充電用機器(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶ P.98)をご参照ください。

1　外部接続端子カバーを開け(①)、共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを差し込む(②)
microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。

2　共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

充電中は通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン( )がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン( )が表示されます。

3　充電が終わったら、共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

4　共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを持ってまっすぐ引き抜き、外部接続端子カバーを閉じる

- 防水性能を維持するために、外部接続端子カバーは確実に閉じてください(▶ P.17)。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **（⏻）を約2秒以上押してバイブレータが振動したら離す**
しばらくすると、ロック解除画面が表示されます（▶ P.19）。

memo

◎ 初めて電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します（▶ P.20）。

◎ auかんたん設定が起動したときの操作については、「auかんたん設定を行う」（▶ P.20）をご参照ください。

電源を切る

1 **ロック解除画面が表示されているときはロックを解除する**

2 **（⏻）を長押しする**
携帯電話オプション画面が表示されます。

《携帯電話オプション画面》

3 **［電源OFF］**

■ 本製品の強制再起動（リセット）方法

本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に再起動（リセット）するには、次の手順に従って操作してください。

1 **（⏻）を約13秒以上長押しする**
約4秒経過したときに、［<］、［⌂］、［□］が点滅し、続いて画面に再起動までのカウントダウンが表示されます。再起動するまで（⏻）を押し続けてください。

memo

◎ 強制的に再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

◎ 携帯電話オプション画面で［再起動］→［再起動］と操作すると、すべてのアプリを終了して本製品を再起動することができます。
再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

スリープモードについて

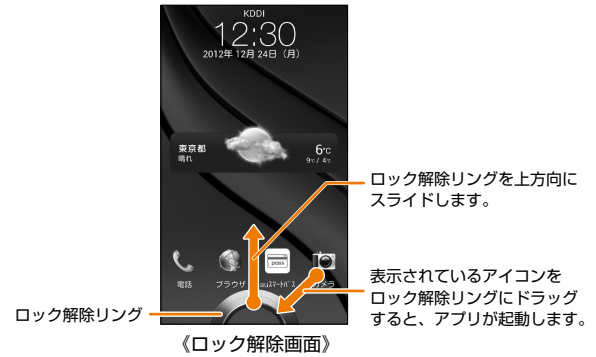
一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます。
また、操作中に（⏻）を押してもスリープモードになります。

memo

◎ 画面が消灯するまでの時間を変更することができます（▶ P.73）。

■ スリープモードを解除する

（⏻）を押すと画面を表示できます。
ロック解除画面が表示されたときは、次のいずれかの操作でロックを解除できます。

《ロック解除画面》

memo

◎ 顔認証／パターン／暗証番号／パスワードを利用して、セキュリティをさらに強化することもできます（▶ P.73）。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。
初期設定について詳しくは、本体付属品の『設定ガイド』をご参照ください。

1 ［日本語］／［English（Japan）］／［English（United States）］→［次へ］

2 インターネットの接続方法を選択→［次へ］

3 接続するWi-Fi®ネットワークを設定→［次へ］
詳しくは、「無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する」（▶ P.78）をご参照ください。

4 ［スキップ］
※パソコンで「http://start.htc.com/htl21」にアクセスして画面の指示に従って設定をしてから、「ウェブから設定を適用」をタップし、画面の指示に従って操作すると、パソコンで設定した内容を本製品に適用することができます。

5 HTCアカウントを作成する場合は［HTCアカウントを作成］→画面の指示に従って設定
- HTCアカウントをお持ちの場合は「私のHTCアカウントでサインイン」をタップします。
- HTCアカウントを利用しない場合は「スキップ」をタップします。

6 データ転送の画面が表示されたら、［スキップ］
- 他の電話機から連絡先やメッセージを転送する場合は、「データ転送」をタップし、画面の指示に従ってデータを転送してください。

7 Dropboxアカウントを作成する場合は［アカウントの作成］→画面の指示に従って設定
- Dropboxアカウントをお持ちの場合は「サインイン」をタップします。
- Dropboxを利用しない場合は「次へ」をタップします。

8 アカウントの設定画面が表示されたら、Googleアカウントを設定する（▶ P.20）
必要に応じて、使用するサービスの設定を行います。

9 ［次へ］

10 HTCに本製品の使用状況を報告するかどうかを選択→［OK］

11 Googleの位置サービスを利用するかどうかを選択→［次へ］
確認画面が表示されます。内容を確認して操作してください。
なお、設定によってはカメラで撮影した写真に位置情報が記録される場合があります。写真を共有する場合はご注意ください。
位置情報の記録を希望しない場合は、カメラの設定を変更してください（▶ P.56）。

12 本製品のデータとインターネット上のデータを同期させるかどうかを選択→［次へ］→［次へ］

13 auかんたん設定を行う（▶ P.20）

memo

◎初期設定が終了すると、クイックヘルプが表示されます。
画面をタップ→［はい］／［いいえ］と操作するとホーム画面が表示されます。

Googleアカウントを設定する

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。
Googleアカウントの設定について詳しくは、本体付属品の『設定ガイド』をご参照ください。

1 Googleアカウントのセットアップ画面で「既存のアカウント」／「新しいアカウント」をタップ
Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「既存のアカウント」をタップし、メールアドレスとパスワードを入力して「▶」をタップします。
Googleアカウントをお持ちでない場合は「新しいアカウント」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

Googleパスワードを再取得する

1 ホーム画面で［▦］→［ブラウザ］→アドレスバーをタップ→「http://www.google.co.jp」を入力→［移動］

2 ［ログイン］→［アカウントにアクセスできない場合］→画面の指示に従って操作

auかんたん設定を行う

auの便利な機能やサービスを利用するための設定を簡単な操作で進められます。

1 ホーム画面で［▦］→［auかんたん設定］

2 auかんたん設定についての説明を確認→［次へ］

3 au IDの説明を確認→［登録］
パケット通信料発生の確認画面が表示されます。「au IDの設定をする」（▶ P.20）の操作2以降を行って、au IDを設定してください。

4 バックアップ設定の説明を確認→アドレス帳をバックアップする場合は［同意する］→［次へ］
アドレス帳をバックアップしない場合は「次へ」をタップします。

5 auウィジェットの説明を確認→auウィジェットを利用する場合は「同意します」をタップしてチェックを付ける→［次へ］
- auウィジェットを利用しない場合は「次へ」をタップします。

6 auかんたん設定完了画面で［設定を終了］

memo

◎auかんたん設定は、本製品を再起動したときにも表示されます。
ただし、auかんたん設定を完了する際に「次回この機能を起動しない」にチェックを付けたときは、表示されません。

au IDの設定をする

本製品にau IDを設定すると、au MarketやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で［▦］→［au ID 設定］
パケット通信の接続確認画面が表示されます。

2 内容を確認→［OK］

3 ［au IDの設定・保存］→画面の指示に従って操作し、au IDを設定
- au IDをすでにお持ちの場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定を行う

Eメール（@ezweb.ne.jp）のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まります。

1 ホーム画面で［✉］
初めて起動したときは、Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定が始まります。

2 内容を確認→［接続する］

3 Eメールアドレスを確認→［閉じる］

memo

◎初期設定時に決まったEメールアドレスを変更する操作については、「アドレスの変更やその他の設定をする」（▶ P.44）の「Eメールアドレスの変更」をご参照ください。

◎Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定はLTE／3Gデータ通信にて行ってください。

基本操作／文字入力

基本操作

タッチパネルの使いかた

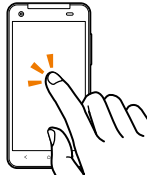
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

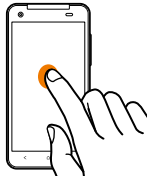
memo

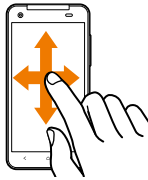
◎タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

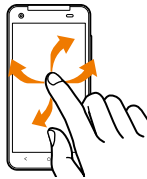
◎以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

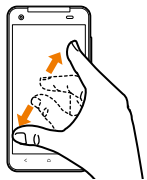
■ タップ／ダブルタップ

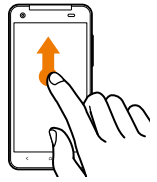
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、アプリを使用するためのスタートポイントです。この画面は、ホーム画面と拡張ホーム画面で構成されており、左右にフリックすると拡張ホーム画面に切り替えることができます。

① **ステータスバー:**通知アイコンとステータスアイコンが表示されます(▶ P.24)。ステータスバーを下方向にスライドすると、通知パネルを開くことができます(▶ P.24)。

② **カスタマイズエリア:**アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。左右にフリックすると、拡張ホーム画面に切り替えることができ、拡張ホーム画面ごとにアプリのショートカットなどを配置できます(▶ P.23)。

③ **ドック:**アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。カスタマイズエリアやアプリ一覧からアイコンをドラッグすると、お好みのアイコンを登録できます。

④ **アプリ:**アプリを表示します。本製品でお使いになれるアプリについては、「アプリ一覧」(▶ P.102)をご参照ください。

拡張ホーム画面について

ホーム画面は、アイコンやウィジェットなどを追加するために、6つの拡張ホーム画面を用意しています。

■ 拡張ホーム画面に切り替える

1 ホーム画面で[⌂]をタップ
拡張ホーム画面が一覧表示されます。
ホーム画面でピンチインしても、拡張ホーム画面が一覧表示されます。

2 表示する拡張ホーム画面をタップ

memo

◎ホーム画面を左右にフリックしても、拡張ホーム画面に切り替えられます。

■ ホーム画面と拡張ホーム画面の表示順を変更する

よく使うアイコンやウィジェットなどを配置した画面をホーム画面の近くに置くと便利です。

1 ホーム画面で[⌂]をタップ
拡張ホーム画面が一覧表示されます。
ホーム画面でピンチインしても、拡張ホーム画面が一覧表示されます。

2 移動する画面をロングタッチ→新しい位置にドラッグ

ホーム画面をカスタマイズする

■ ウィジェットやアイコンを追加する

1 カスタマイズエリアの何もない場所をロングタッチ
カスタマイズ画面が表示されます。

2 ホーム画面に追加するアイテムの種類をタップ
ウィジェット:カレンダー、音楽、写真フレーム、Twitterなど、大切な情報やさまざまなコンテンツを確認できます。
アプリケーション:よく使うアプリのショートカットをホーム画面に追加できます。
ショートカット:各種設定、ブックマークに登録したWebページ、お気に入りの連絡先などのショートカットを作成できます。

3 ホーム画面に追加するアイテムを選択
選択したウィジェットやアイコンによっては、続けて項目やデザインを選択します。

memo

◎次の操作でもホーム画面にアプリのショートカットを追加できます。
ホーム画面で[▦]→アイコンをロングタッチ→ホーム画面の空いている場所にドラッグします。

■ ウィジェットやアイコンを移動する

1 移動するアイテムをロングタッチ→新しい位置にドラッグ

■ フォルダを作成する

1 フォルダに入れるアイテムをロングタッチ→同じフォルダに入れるアイテムの上にドラッグ

memo

◎フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ→[名称未設定フォルダ]→フォルダ名を入力します。

■ ウィジェットやアイコンを削除する

1 削除するアイテムをロングタッチ→「削除」の上にドラッグ

シーンを切り替える

勤務中や旅行中などの利用シーンに合わせて、ホーム画面のウィジェットやアプリのショートカットなどを簡単に切り替えることができます。

《ビジネス》

《トラベル》

1 ホーム画面で[▦]→[個人設定]→[シーン]

2 左右にスライドして使用するシーンを選択

3 [適用]

■ 新しいシーンを作成する

ウィジェットやアイコンをすべて削除した新しいシーンを作成できます。

1 ホーム画面で[▦]→[個人設定]→[シーン]

2 [メニュー]→[新規]

3 新しいシーンの名前を入力→[完了]
ウィジェットやアイコンの追加方法については、「ホーム画面をカスタマイズする」(▶ P.23)をご参照ください。
壁紙の変更方法については、「壁紙を変更する」(▶ P.73)をご参照ください。

アプリを起動する

1 ホーム画面で[▦]

2 利用するアプリのアイコンをタップ
左右にスライドすると、前後のページを表示できます。

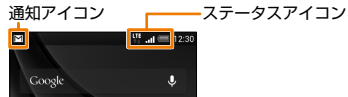
memo

◎利用するアプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

◎アプリ利用中に、[⌂]をタップするとホーム画面に戻ります。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

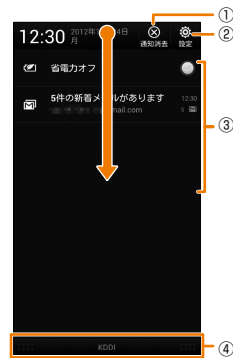
画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	発信中、通話中、着信中
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	サーバに新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	新着SMSあり
	SMSの配信レポートあり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	アプリのアップデートあり/インストール完了
	USB接続中
	文字入力中
	ワンセグ起動中
	ワンセグの視聴予約の準備中
	ワンセグの録画予約の準備中
	FMラジオ起動中
	ボイスレコーダー録音中
	カレンダーの予定の通知あり
	ウイルスバスター™ for auの通知
	3LM Securityの通知
	Wi-Fi®ネットワークあり
	Wi-Fi®テザリング機能オン
	Bluetooth®対応機器からのデータ着信あり
	データ受信/ダウンロード
	データ送信/アップロード
	赤外線通信中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電波状態
	圏外
	機内モード
	パケット通信(LTE)状態
	パケット通信(3G)状態
	無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態
	Bluetooth®機能オン
	Bluetooth®対応機器と接続中
	電池レベル
	充電中
	マナーモード
	サイレントモード
	マイク付きイヤホン接続中
	マイクなしイヤホン接続中
	au Micro IC Card (LTE)未挿入
	おサイフケータイロック設定中

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルを開くことができます。

① **通知消去：**通知を消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

② **設定：**設定メニューが表示されます(▶ P.72)。

③ **お知らせエリア：**通知によっては、タップするとその通知に関連する情報が表示されます。

④ **閉じるバー：**上方向にスライドするか、をタップすると通知パネルを閉じることができます。

通知ランプについて

本製品の充電状態や、未確認の不在着信、新着メールなどの情報は、通知ランプの点灯/点滅で確認できます。

通知ランプ	状態
点灯(緑)	内蔵電池充電完了
点灯(赤)	内蔵電池充電中
点滅(赤)	内蔵電池残量少(要充電)
点滅(緑)	未確認の通知あり

メニューを表示する

画面に表示される「メニュー」や「」をタップします。

※ 画面によって表示は異なります。

なお、アプリによっては画面下部にメニューバーが表示される場合があります。

《メニューバーの例》

最近使用したアプリを起動する

1 **→起動するアプリをタップ**

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、テキストや数字の入力が必要なアプリを起動したときや、文字入力エリアをタップしたときに表示されます。

キーボードを切り替える

1 「文字」をロングタッチ→［テンキー⇔フルキー］

《テンキーキーボード》

《フルキーキーボード》

■ テンキーキーボードの見かた

① **戻るキー：**文字入力キーに割り当てられている文字を逆の順に表示したり、変換を確定した文字を元に戻します（Undo）。

② **カーソル移動キー（左）：**カーソルを左に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分短くします。

③ **英数カナ／記号キー：**入力中にタップすると、英数カナ変換を行います。入力前にタップすると、記号／顔文字リストを表示します。

④ **文字キー：**入力モードを切り替えます（ひらがな漢字→半角英字→半角数字→ひらがな漢字→…）。
ロングタッチするとiWnn IMEメニューが表示され、フルキーキーボードへの切り替えや入力モードの切り替えなどができます。

⑤ **変換候補エリア：**文字を入力すると変換候補が表示されます。

⑥ **バックスペースキー：**カーソルの左側の文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

⑦ **カーソル移動キー（右）：**カーソルを右に移動します。連文節変換時は変換する文字の範囲を1文字分長くします。

⑧ **スペースキー：**スペースの入力、または連文節変換を行います。

⑨ **Enter（確定）キー：**改行を入力したり、入力中の読み（または変換中の漢字）を確定します。また、入力を確定後、検索などを実行するときにも使用します。

⑩ 入力中の文字に「゛」（濁点）・「゜」（半濁点）を付加したり、大文字・小文字の切り替えを行います。
※「🎤」をタップすると、音声入力を開始します。

⑪ **文字入力キー：**文字を入力します。

⑫ 「、」（読点）や「。」（句点）、記号やスペースを入力します。

memo

◎キーボードが必要ないときは、「<」をタップして閉じることができます。キーボードを再び表示するには、画面上の文字入力エリアをタップします。

テンキーキーボードで入力する

例：「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

- 入力モードが「ひらがな漢字」以外のときは、「文字」をタップして入力モードを「ひらがな漢字」にします。

《テンキーキーボード（ひらがな漢字）》

2 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

変換候補エリアに変換候補が表示されます。

- 変換候補エリアに変換候補を表示しきれない場合は、変換候補エリア右の「▼」／「▲」をタップして変換候補エリアの最大化／最小化をすることができます。
- 「英数カナ」をタップすると、入力した文字に応じた英数字およびカタカナの変換候補が表示されます。
- 「変換」をタップすると、入力した文字の変換候補が表示されます。
- カーソル移動キー（⬅／➡）をタップして変換する文字の範囲を変更することもできます。

3 変換候補エリアの「携帯」をタップ

フルキーキーボードで入力する

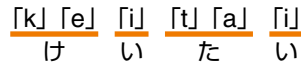
例：「携帯」と入力する場合

1 文字入力エリアをタップ

ソフトウェアキーボードが表示されます。

- 入力モードが「ひらがな漢字」以外のときは、「文字」をタップして入力モードを「ひらがな漢字」にします。

《フルキーキーボード（ひらがな漢字）》

2 文字入力キーをタップして「けいたい」と入力

3 変換候補エリアの「携帯」をタップ

電話

電話をかける／受ける

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1　ホーム画面で[ ]

2　ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力する

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3　[ダイヤル]→通話→[通話を終了]

■ 電話画面の見かた

《電話画面》

① **連絡先を保存：**連絡先に登録されていない電話番号を入力すると表示されます。タップすると、連絡先に電話番号を登録できます。

② **電話番号入力欄：**電話番号を入力できます。ロングタッチすると、電話番号のコピーや貼り付けなどができます。

③ **メニュー**

④ **ダイヤルキー**

⑤ **キーパッド非表示キー**

⑥ **タブ：**電話画面／連絡先画面／グループ画面／通話履歴画面を切り替えます。

⑦ **削除キー：**タップすると、番号が1桁ずつ消去されます。ロングタッチすると、入力した番号がすべて消去されます。

⑧ **音声入力キー：**電話番号や連絡先を音声で入力できます。

⑨ **ダイヤル：**入力した電話番号に電話をかけます。電話番号が入力されていないときは、最近の通話相手に電話をかけます。

memo

◎通話中に[ホーム]または[戻る]をタップすると、通話したままホーム画面に戻ります。通話中の画面を再表示するには、ホーム画面で「[ ]」をタップするか、ステータスバーを下方向にスライドする→通話の情報をタップします。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察·消防機関·海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）·消防機関（119）·海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。

◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街·建物内·ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎緊急通報位置通知は、日本国内のサービスです。海外では利用できません。

◎警察·消防機関·海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

通話履歴から電話をかけられます。

1　ホーム画面で[ ]→[通話履歴]

2　電話をかける相手をタップ→通話→[通話を終了]

memo

◎通話履歴画面で「通話履歴▼」をタップすると、通話履歴を種類別に表示できます。

◎通話履歴をロングタッチするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示や通話履歴の削除、連絡先の表示などが行えます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1　ホーム画面で[ ]

2　国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力する

国際アクセス番号※1		国番号（アメリカ）		市外局番※2		相手の方の電話番号
001010 または 010	➡	1	➡	212	➡	123XXXX

※1　「0」をロングタッチすると「＋」が入力され、発信時にプラスコードダイヤル（お買い上げ時は001010）が自動で付加されます。プラスコードダイヤルについて詳しくは、「プラスコードダイヤルを設定する」（▶ P.93）をご参照ください。

※2　市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア·モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

3　[ダイヤル]→通話→[通話を終了]

memo

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から**0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

◎海外へ電話を転送できます（▶ P.85「海外の電話へ転送する」）。

◎国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」（▶ P.95）をご参照ください。

電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

1　**着信中に[電話に出る]**
スリープモード中の着信に応答する場合は、「電話に出る」をロック解除画面のリング内にドラッグするか、リングを上方向にスライドします。

2　**通話→[通話を終了]**

memo

◎着信音を一時的に消すには、[＋]または[－]を押します。
ディスプレイを下向きにしても着信音を消すことができます。

かかってきた電話に出なかった場合は
◎ステータスバーに「」が表示されます。

着信を拒否する

1　**着信中に[拒否]**
スリープモード中の着信を拒否する場合は、「拒否」をロック解除画面のリング内にドラッグします。

自分の電話番号を確認する

1　**ホーム画面で[]→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→「電話番号」**

電話

メール／インターネット

メールを送受信する

メールについて

本製品では、以下のメールが利用できます。

■ Eメール(@ezweb.ne.jp)

Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

▶ P.32「Eメール(@ezweb.ne.jp)」

■ SMS

携帯電話同士で電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。全角70／半角160文字まで送受信できます。

▶ P.46「SMS」

■ PCメール

パソコンなどで利用しているメールアドレスのメールを送受信できます。

▶ P.47「PCメール」

■ au one メール

au one メールは、情報料無料･大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。

▶ P.48「au one メール」

■ Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品のGmailで送受信したメールを、パソコンなどのブラウザからも確認できます。また、ブラウザでGmailを操作すると本製品のGmailにも反映されます。

▶ P.49「Gmail」

Eメール(@ezweb.ne.jp)

Eメール(@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定が必要です。Eメールの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。
  詳しくは、「Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定を行う」(▶ P.20)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎ Eメールは海外でもご利用になれます。

◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールを送る

1 ホーム画面で[ ]→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

《送信メール作成画面》

2 [ ]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 アドレスの入力方法をタップ

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」をタップすると、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends NoteアプリをauスマートパスのI「アプリ」からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける→[選択]** • [ ]→[削除]→Eメールアドレスにチェックを付ける→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されているお客様のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5　本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6　[完了]→[送信]→[送信]

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。

◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。・「」』は入力できません。

◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。

◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。

◎絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。

◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶ P.43）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

1　送信メール作成画面を表示

2　アイコンをタップ

アイコン		説明
（追加アイコン）		宛先を追加します。 詳しくは、「Eメールを送る」（▶ P.32）の操作3をご参照ください。 アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
（削除アイコン）		宛先を削除します。
To	To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
	Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
	Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1　送信メール作成画面で添付データ欄をタップ

2　添付するデータの種類をタップ

種類	説明
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）に保存しているデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	フォトを撮影して添付します。
カメラ（動画）	ムービーを撮影して添付します。
その他	他のアプリのデータを添付します。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。

◎データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1　送信メール作成画面で削除するデータの「（削除アイコン）」をタップ

2　[削除]

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1　送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→[絵文字]

2　[D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3　項目をタップ

項目	説明
メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

本体メモリやmicroSDメモリカードの絵文字を利用する場合

1　送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→[絵文字]

2　[microSD]→[ダウンロード]

3　項目をタップ

項目	説明
メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます（デコレーションメール）。

1　送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力

2　[装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3　装飾の開始位置を選択→[選択開始]→（◁）／（▷）で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

[（メニュー）]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4　必要な項目を設定

項目	説明
文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）に保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5　[完了]→[送信]→[送信]

memo

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。

◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。

◎「Eメールにデータを添付する」（▶ P.33）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauポータルから対応するアプリをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力

2 ［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 Eメールトップ画面（▶ P.35）で［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。
［▮］→［ストレージから読み込み］と操作すると、本体メモリおよびmicroSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→［メール作成］

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面（▶ P.32）で本文入力欄をタップ→［▮］

2 必要な項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されているお客様の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶ P.43）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに［E］が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

- ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下方向にスライドする

3 ［Eメール］

Eメールトップ画面が表示されます。

4 「受信ボックス」またはフォルダをタップ→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに［E］が点灯し、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶ P.43）を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。

◎「メール自動受信」（▶ P.43）を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り［E］が点灯します。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶ P.34）の操作を行い、Eメールを受信してください。

◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字／半角約10,000文字（約10KB）までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面を表示

2 添付データのファイル名をタップ→［表示］

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データのファイル名をタップ→［表示］と操作してください。

memo

◎ 受信メール内容表示画面で添付データのファイル名をタップ→［ストレージへ保存］→保存先を選択→［保存］と操作すると、添付データを本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）に保存できます。
インライン再生された画像は、「添付画像を保存する」（▶ P.39）の操作でも保存できます。

◎ 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎ デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶ P.43）を自動受信しない設定にしている場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で［▮］→［新着問合せ］

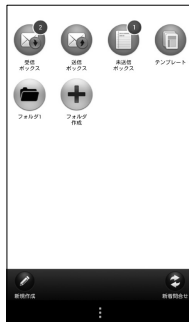
新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[ ]

Eメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Eメールトップ画面》

2 「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」／フォルダをタップ

メール一覧画面が表示されます。

フォルダをタップした場合は、「受信」／「送信」をタップすると、フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

3 Eメールをタップ

メール内容表示画面が表示されます。

：前のEメールを表示

：次のEメールを表示

[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除

[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／解除する

受信メール

[返信]：返信のEメールを作成

[転送]：転送のEメールを作成

送信メール

[再送信]：同じEメールをもう一度送信

[コピー編集]：Eメールをコピーして編集

未送信メール

[送信]：Eメールを送信

[編集]：Eメールを編集

[コピー編集]：保護されたEメールをコピーして編集

memo

◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。

◎Eメールトップ画面で[ ]→[au oneメール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます。（▶ P.48「au one メール」）

◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。

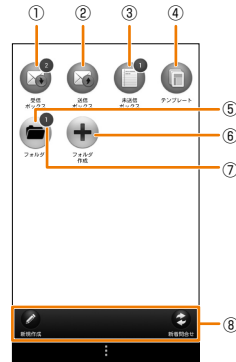
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。

◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

◎未送信ボックスのメール一覧画面で、送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

■ Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

■《Eメールトップ画面》

① **受信ボックス**

② **送信ボックス**

③ **未送信ボックス**

④ **テンプレート**

⑤ **フォルダ**

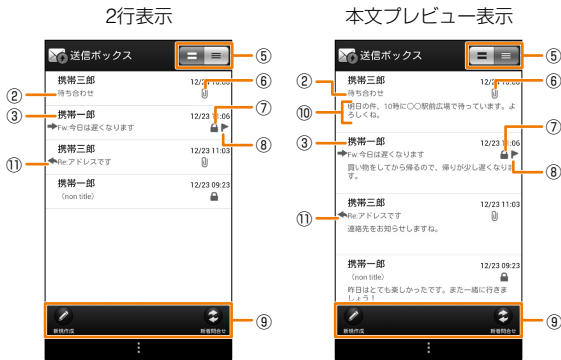
⑥ **フォルダ作成**

⑦ フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

⑧ **アクションバー**

■ Eメール一覧画面の見かた

■《メール一覧画面(受信ボックス)》

■《メール一覧画面(送信ボックス)》

■《メール一覧画面(未送信ボックス)》

■《メール一覧画面(フォルダ)》

① **●:未読のEメール**
○:本文を未受信のEメール
⚠:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

② **件名**

③ **宛先/差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

④ **:返信したEメール**
:転送したEメール
:返信/転送したEメール

⑤ **2行表示/本文プレビュー表示切替ボタン**

⑥ **添付データあり**

⑦ **保護されたEメール**

⑧ **フラグあり**

⑨ **アクションバー**

⑩ **本文**

⑪ **:返信のEメール**
:転送のEメール

⑫ **送信に失敗したEメール/サーバーに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール**

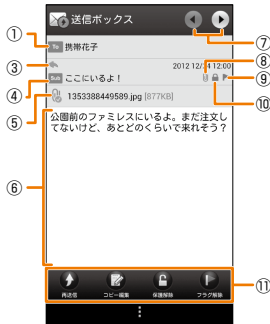
⑬ **受信/送信切替スライダー**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

memo

◎ 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール内容表示画面の見かた

■《受信メール内容表示画面》

■《送信メール内容表示画面》

① **受信メール**
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス
送信メール
To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス
※ 宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② ：本文を未受信のEメール
：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

③ **受信メール**
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
送信メール
：返信のEメール
：転送のEメール

④ **Sub：件名**

⑤ **：受信済みの添付データ（システムメモリ保存）**
：受信済みの添付データ（本体メモリ保存）
：受信済みの添付データ（本体メモリ保存失敗）
：受信済みのインライン添付データ（システムメモリ保存）
：受信済みのインライン添付データ（本体メモリ保存）
：未受信の添付データ
※ 添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑥ **本文**

⑦ **次のEメール／前のEメールを表示**
※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧ **添付データあり**

⑨ **フラグあり**

⑩ **保護されたEメール**

⑪ **アクションバー**

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面（▶P.36）／送信メール一覧画面（▶P.36）／未送信メール一覧画面（▶P.36）／検索結果一覧画面（▶P.41）で［⁝］**

2 **項目をタップ**

検索	▶ P.41「Eメールを検索する」	
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを付ける→［移動］→移動先のフォルダをタップ** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを付ける→［削除］→［削除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。	
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールにチェックを付ける→［保護］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信･未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。	
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを付ける→［つける］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/storage/ext_sd/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合は本体メモリ（/storage/sdcard0/private/au/email/BU）に保存します。 **保存するEメールにチェックを付ける→［保存］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ･復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.44）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶ P.40「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールにチェックを付ける→［受信］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶ P.42「Eメールを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1　受信メール一覧画面（▶P.36）／送信メール一覧画面（▶P.36）／未送信メール一覧画面（▶P.36）／検索結果一覧画面（▶P.41）で操作するEメールをロングタッチ

2　項目をタップ

項目		説明
返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。
拒否リスト登録		差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.45「迷惑メールフィルターを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1　受信メール内容表示画面（▶P.37）／送信メール内容表示画面（▶P.37）で［⋮］

2　項目をタップ

項目		説明
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.32）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。
削除		Eメールを削除します。
本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または［⇦］／［⇨］でカーソルを移動→［選択開始］→［⇦］／［⇨］で選択範囲を指定→［コピー］** • Eメール内容表示画面で本文をロングタッチ→［本文選択］と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→「●」／「●」をドラッグして選択範囲を指定→［コピー］と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/storage/ext_sd/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合は本体メモリ（/storage/sdcard0/private/au/email/BU）に保存します。 **保存するEメールにチェックを付ける→［保存］** • 保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.44）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	• 本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

1 受信メール内容表示画面（▶ P.37）／送信メール内容表示画面（▶ P.37）を表示

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 項目をタップ

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］→［保存］** • ロックされたフォルダ（▶ P.41）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶ P.40「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶ P.45「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

1 受信メール内容表示画面（▶ P.37）／送信メール内容表示画面（▶ P.37）を表示

2 件名をタップ→［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

1 受信メール内容表示画面（▶ P.37）／送信メール内容表示画面（▶ P.37）を表示

2 本文中の電話番号をタップ

3 項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 **http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html**
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶ P.46「SMS」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

1 受信メール内容表示画面（▶ P.37）／送信メール内容表示画面（▶ P.37）を表示

2 本文中のURLをタップ

3 項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）に保存できます。

1 受信メール内容表示画面（▶ P.37）／送信メール内容表示画面（▶ P.37）で本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存する画像にチェックを付ける

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

microSDメモリカードが取り付けられているときは、最初にmicroSDメモリカード（/storage/ext_sd/private/au/email/MyFolder）が表示されます。

5 保存先を選択→［保存］

選択した画像が保存されます。

memo

◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください（▶ P.34）。

◎保存した画像はギャラリーで確認できます（▶ P.57）。

Eメールトップ画面でできること

1 Eメールトップ画面（▶ P.35）で［⋮］

2 項目をタップ

検索	▶ P.41「Eメールを検索する」	
フォルダ編集	▶ P.40「フォルダを作成／編集する」	
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを付ける→［削除］→［削除］** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。	
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。	
Eメール設定	▶ P.42「Eメールを設定する」	
au one メール	au one メールTop	▶ P.48「au one メール」
	au one メールへ自動保存	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **アプリを選択→［次へ］→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→［OK］→画面に従って設定する** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶ P.48）。

メール／インターネット

フォルダを作成／編集する

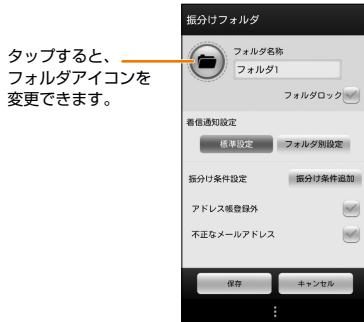
フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面（▶ P.35）で［フォルダ作成］

フォルダ編集画面が表示されます。

- フォルダを編集する場合は、Eメールトップ画面（▶ P.35）で［ ］→［フォルダ編集］→編集するフォルダをタップします。

《フォルダ編集画面》

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する

1 フォルダ編集画面（▶ P.40）左上のフォルダアイコンをタップ

2 項目をタップ

アイコン	あらかじめ用意されているアイコンからフォルダアイコンを選択します。アイコンの背景色（カラー）も選択できます。 **カラーをタップ→［OK］**
ギャラリーから写真を選択	ギャラリーの画像からフォルダアイコンを作成します。 **画像を選択→切り抜き範囲を指定→［切り抜き］→［OK］**

3 ［保存］

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面（▶ P.35）で［ ］→［フォルダ編集］→フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 ［振分け条件追加］

- 連絡先登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合は、［アドレス帳登録外］／［不正なメールアドレス］にチェックを付けます。

3 ［▼］→登録する振分け条件の種類をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→［OK］** ●「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→［OK］** ●「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→［OK］** ● 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

4 ［保存］

memo

◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。

◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。

◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。

◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「 」をタップして、条件を編集したり削除することができます。

◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。

◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知ランプを設定できます。

1　Eメールトップ画面（▶ P.35）で[ ]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2　[フォルダ別設定]

3　必要な項目を設定

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 「OFF」「パターン1」〜「パターン5」	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知ランプを設定します。 「OFF」「パターン1」〜「パターン5」	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ●「時間設定」を選択した場合は、1〜60秒の範囲で指定します。	

4　[OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶ P.42）。

1　Eメールトップ画面（▶ P.35）で[ ]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

2　[フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが付きます。

フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3　[保存]

フォルダを並び替える

1　Eメールトップ画面（▶ P.35）で移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2　そのまま指を離さず、移動する位置にドラッグ

memo

◎作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを検索する

1　Eメールトップ画面（▶ P.35）で[ ]→[検索]

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面で[ ]→[検索]と操作します。

2　キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3　[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

- 検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索する場合は、「From」／「To」／「件名」／「本文」をタップします。

《検索結果一覧画面》

メール／インターネット

Eメールを設定する

1 **Eメールトップ画面（▶ P.35）で［⋮］→［Eメール設定］**

Eメール設定メニューが表示されます。

受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面で［⋮］→［その他］→［Eメール設定］と操作しても、Eメール設定メニューを表示できます。

《Eメール設定メニュー》

2 **必要な項目を設定**

受信･表示設定	▶ P.43「受信･表示に関する設定をする」	
送信･作成設定	▶ P.43「送信･作成に関する設定をする」	
通知設定	▶ P.43「通知に関する設定をする」	
添付ファイル保存設定※	保存場所の設定	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 **本体メモリに保存**：システムメモリに保存する。 **ストレージに保存**：本体メモリに保存する。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**：システムメモリから本体メモリに移動する。 **本体メモリへ一括移動**：本体メモリからシステムメモリに移動する。
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力→［OK］→同じパスワードを再度入力→［OK］→ひみつの質問を選択→［OK］→ひみつの質問の回答を入力→［OK］** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。［表示する］→回答を入力→［OK］と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→［OK］→［リセット］** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更･その他の設定	▶ P.44「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ･復元	▶ P.44「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→［アドレスコピー］と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

※ 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信･再生する」（▶ P.34）にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1　Eメール設定メニューで[受信・表示設定]

2　必要な項目を設定

項目		説明
メール自動受信		サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信※	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する。 • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[ ]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信※	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定		Eメールアプリの画面デザインを選択します。

※ 差出人・件名のみを受信したメールは、受信メール一覧画面（▶ P.36）でメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール内容表示画面が表示されたときは、[ ]→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

送信・作成に関する設定をする

1　Eメール設定メニューで[送信・作成設定]

2　必要な項目を設定

項目	説明
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1　Eメール設定メニューで[通知設定]

2　必要な項目を設定

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	本体メモリやmicroSDメモリカード（▶ P.76）の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 「OFF」「パターン1」～「パターン5」
LED		Eメール受信時の通知ランプを設定します。 「OFF」「パターン1」～「パターン5」
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定メニューで[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 必要な項目を設定

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. [承諾する] 3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]→[閉じる] • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	**オススメの設定はこちら** ▶ P.45「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先	サーバーで受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了] • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー! Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ/復元する

Eメールをフォルダごとにバックアップすることができます。また、バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

memo

◎ 本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード(/storage/ext_sd/private/au/email/BU)に、取り付けられていない場合は本体メモリ(/storage/sdcard0/private/au/email/BU)に保存されます。

Eメールをバックアップする

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。

- 本体メモリに保存する場合は、あらかじめmicroSDメモリカードを取り外してから操作してください。

1 Eメール設定メニュー(▶ P.42)で[バックアップ・復元]

2 [バックアップ]

3 バックアップするフォルダにチェックを付ける→[OK]

ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されているバックアップデータを復元できます。

- 本体メモリに保存されたバックアップデータを読み込む場合は、あらかじめmicroSDメモリカードを取り外してから操作してください。

1 Eメール設定メニュー(▶ P.42)で[バックアップ・復元]

2 [メールを復元]

3 [受信メール]/[送信メール]/[未送信メール]/[ストレージから探す]→[OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。

「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]/[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎ 添付ファイルはバックアップされません。

◎ バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます)、バックアップしたEメールを復元します。

◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールをサーバ転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

■ おすすめの設定にする場合

1 Eメール設定メニュー(▶ P.42)で[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

1 Eメール設定メニュー(▶ P.42)で[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 [迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3 必要な項目を設定

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	個別設定	**一括指定受信** インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。 **迷惑メールおまかせ規制** メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可): 「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。 **HTMLメール規制** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制** メールサーバーで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染されている場合に、受信規制を行います。 **拒否通知メール返信設定** 迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するか設定します。
詳細設定	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。 ※「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」: 「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。なお、本受信設定リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	アドレス帳受信設定	Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
設定確認／解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶ P.46「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。

指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)>なりすまし規制>指定拒否リスト設定>指定受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制>ウィルスメール規制

◎「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし・転送メール許可)に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。

※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。

この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。

※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMS

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]
相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]
送信先のスレッドが表示されている場合はスレッドをタップします。

3 画面上部のボックスに相手の電話番号を入力
[連絡先]→相手をタップ→[完了]と操作しても宛先を設定できます。
海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と国番号を入力します。

010　＋　国番号　＋　相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。
※ 連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、宛先をタップ→もう一度宛先をタップ→[編集]と操作して、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

4 [テキストを追加]→本文を入力
メッセージは全角70／半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

memo

◎ メッセージ入力中に[<]をタップして、相手先別のスレッド一覧画面に戻ると、メールを送信せずに下書きとして保存できます。

◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。
お預かり(蓄積)可能時間:72時間まで※1
お預かり可能件数:制限なし※2
※1 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
※2 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
- **SMS蓄積後すぐに配信:**新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
- **リトライ機能による配信:**相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
- **通話を終了したときに配信:**蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに、送信できなかったため送り直す旨のメッセージが表示される場合があります。

◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/kokusai_sms/index.html

SMSを受け取る

1 SMSを受信
SMSを受信すると、ステータスバーに「[✉]」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下方向にスライドする→SMSの情報をタップ

memo

◎ SMSの受信料は、無料です。

◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。

◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎ システムメモリの空き容量がなくなるとSMSを受信できなくなります。SMSを受信できない場合は、保存しているSMSを削除するなどして、システムメモリの空き容量を増やしてください。

SMSの設定

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]→[メニュー]→[設定]

2 必要な項目を設定

項目	説明
通知	受信したSMSや送信したSMSの通知方法を設定します。
テキストメッセージ(SMS)	「受取確認通知」のチェックを付けると、相手がメッセージを受信するたびに、自分の送ったメッセージに受取確認アイコンが表示されます。
全般	送信相手の電話番号を入力したときに表示される候補を設定したり、スレッド一覧画面で表示されるメッセージの最大行数を設定します。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。

◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。

◎ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ぷりペイド送信含む)です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX(伝言お知らせ)※、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

操作	方法
設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信できない旨のエラーメッセージが表示され送信されません。

PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

PCメールのアカウントを設定する

PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

- 「メール」アプリでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。詳しくは、「au one メールを「メール」アプリで受信するには」(▶ P.48)をご参照ください。
- アカウント情報については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で[▦]→[メール]
初めて起動したときは、PCメールのアカウントを設定します。

2 メールプロバイダを選択→メールアドレスとパスワードを入力→[次へ]
自動的にメールサーバーの設定が行われます。
「手動設定」をタップした場合や、「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、手動で設定します。

3 アカウント名とあなたの名前を入力→[設定を完了]
受信トレイが表示され、設定したアカウントのメールが受信されます。

memo

◎「あなたの名前」は、メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前です。

◎メールプロバイダによっては、操作が異なる場合があります。

別のPCメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]→[メニュー]→[アカウントを追加]

アカウントを削除する

1 ホーム画面で[▦]→[メール]→画面左上のアカウント名をタップ

2 削除するアカウントをタップ

3 [メニュー]→[設定]→[アカウントの削除]→[OK]

PCメールを送る

1 ホーム画面で[▦]→[メール]
別のメールアカウントでメールを作成する場合は、画面左上のアカウント名をタップ→メールを作成するアカウントをタップします。

2 [新規作成]

3 [To:]→宛先を入力
「👤」をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択できます。
CCまたはBCCを追加するには、「CC/BCCを表示」をタップしてCC欄とBCC欄に宛先を入力します。

4 [件名]→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力
必要に応じて[添付]→添付するファイルを選択します。

6 [送信]

memo

◎メール作成中に[メニュー]→[保存]と操作すると、メールを送信せずに下書きとして保存できます。

◎下書きとして保存したメールは、PCメール一覧画面で[メニュー]→[フォルダ]→[下書き]→下書きメールをタップすると表示できます。

PCメールを受け取る

1 ホーム画面で[▦]→[メール]
PCメール一覧画面が表示されます。
別のメールアカウントのPCメールを受信する場合は、画面左上のアカウント名をタップ→PCメールを受信するメールアカウントをタップします。

2 [メニュー]→[更新]
PCメールを受信すると、メール受信音が鳴ります。

3 受信したPCメールをタップ

memo

◎PCメール一覧画面以外を表示中にPCメールを受信すると、ステータスバーに「✉」が表示され、メール受信音が鳴ります。
メールを確認するには、ステータスバーを下方向にスライドする→PCメールの情報をタップ→受信したPCメールをタップします。

PCメールに返信/転送する

1 PCメール一覧画面で返信/転送するPCメールをタップ

2 [転送]/[全員へ返信]/[返信]

3 メールを作成して送信
詳しくは、「PCメールを送る」(▶ P.47)をご参照ください。

memo

◎PCメール一覧画面で返信/転送するPCメールをロングタッチ→[返信]/[全員へ返信]/[転送]と操作しても、返信/転送できます。

PCメールを削除する

1 PCメール一覧画面で削除するPCメールをロングタッチ→[削除]

memo

◎PCメール一覧画面で削除するPCメールをタップ→[削除]と操作しても削除できます。

◎複数のメールを削除するには、PCメール一覧画面で削除するPCメールにチェックを付ける→[削除]と操作します。

メールアカウントごとに受信設定を行う

1 PCメール一覧画面で画面左上のアカウント名をタップ→受信設定を行うメールアカウントをタップ

2 [メニュー]→[設定]→[同期、送受信]→受信設定(同期設定)を行う

au one メール

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。

memo

◎au one メールの機能や設定については、ホーム画面で[🌐]→URL表示欄を選択→「http://auone.jp/」を入力→[移動]→[auお客さまサポート]→[操作・設定・トラブル]→[メール設定]→[au one メールをご利用の方]と操作し、各項目をご参照ください。

■ au one メールを「メール」アプリで受信するには

「メール」アプリでau one メールを利用する場合は、au one メールの会員登録を行ったあと、以下の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面※で[設定]→[メール転送とPOP/IMAP設定]と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する
- au one メールのデスクトップ画面※で[設定]→[アカウント]→[Googleアカウントの設定]→[メールパスワード設定]と操作し、メールパスワードを設定する

※au one メールのデスクトップ画面を表示するには、Eメールトップ画面(▶ P.35)で[▮]→[au one メール]→[au one メールTop]と操作します。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。

- 会員登録するには、au IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶ P.20)をご参照ください。

1 Eメールトップ画面(▶ P.35)で[▮]→[au one メール]→[au one メールTop]

2 アプリを選択

3 [かんたんログイン]

4 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

5 [規約に同意して登録する]
登録内容の確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]
会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。

◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面（▶ P.35）で［ ］→［au one メール］→［au one メールTop］

2 アプリを選択

au one メールのデスクトップ画面（受信トレイ）が表示されます。
初めて起動したときは、au one メールの注意点が表示されますので、内容をご確認のうえ「OK」をタップしてください。

3 「au one メール表示：」の「標準」をタップ

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
画面を上へスライドしてページ下部にある「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■ au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド（最初のメールへの返信）単位で表示されます。重要なメールにスター（星印）を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます。設定について詳しくは、「Eメールトップ画面でできること」（▶ P.39）の「au one メールへ自動保存」をご参照ください。

Gmail

Gmailは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの送受信などができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントの設定方法については、「Googleアカウントを設定する」（▶ P.20）をご参照ください。
- 利用方法の詳細については、Gmailの受信トレイで［ ］→［ヘルプ］と操作してGmailのヘルプをご確認ください。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面で［ ］→［Gmail］

- 受信トレイが表示されない場合は［<］を何回かタップします。
- 複数のメールアカウントを登録している場合は、受信トレイで画面左上のアカウントをタップ→操作するアカウントをタップすると、指定したアカウントの受信トレイが表示されます。

Gmailを更新する（新着メールを問い合わせる）

Gmailアカウントの同期をオフに設定している場合や、メールの受信に失敗した場合はGmailを更新します。

1 受信トレイで［ ］

memo

◎ 更新すると、本製品のGmailとWebサイトのGmailを同期して受信トレイを更新します。そのため、WebサイトのGmailで削除したメールが本製品のGmailから削除されるなど、新着メールの問い合わせ以外の動作も発生します。

◎ Gmailを自動で更新するには、ホーム画面で［ ］→［設定］→［アカウントと同期］→「自動的に同期」をタップして「On」にする→［Google］→Googleアカウントをタップ→「Gmail」をタップしてチェックを付けます。

送信済みや下書き保存したGmailを確認する

1 受信トレイで［ ］→確認するメールのラベル（種類）をタップ

Gmailを送る

1 受信トレイで［ ］

2 ［To］→宛先を入力

3 ［件名］→件名を入力

4 ［メールを作成］→本文を入力

5 ［ ］

memo

◎ メールの作成画面で「 」をタップすると、「ファイルを添付」や「Cc／Bccを追加」、「下書き保存」などのオプションを選択できます。

◎ 送信したメールは、本製品からのメールでもパソコンからのメールとして扱われます。受信する機器でパソコンからの受信を拒否する設定にしていると、メールが届きません。

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに「 」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下方向にスライドする→Gmailの情報をタップ

Gmailに返信／転送する

1 受信トレイで返信／転送するメールを含むスレッドをタップ→[↩]

メールの作成画面が表示されます。

2 件名、本文を入力→[▶]

- 全員に返信したり転送する場合は、[返信]→[全員に返信]／[転送]と操作します。転送する場合は、「To」(宛先)も入力します。
- 元のメールを引用しながら返信するときは、メールの作成画面で「引用返信」をタップします。
- 送信するメールの末尾に元のメールを挿入するときは、「元のメッセージ」をタップしてチェックを付けます。

スレッドを操作する

Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着のメールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや既存のメールの件名を変更した場合は、新しいスレッドが作成されます。

1 受信トレイでスレッドをロングタッチ

スレッドが選択されます。

2 画面下部のアイコンで「アーカイブ」などのオプションを選択する

主なオプションは次の通りです。

(アーカイブ)	スレッドをアーカイブして非表示にします。 • 非表示にしたスレッドに新しいメールが届くと、スレッドが再表示されます。
(削除)	スレッドを削除します。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
(ラベル)	スレッドのラベルを変更します。
(メニュー)	**ミュート:**スレッドをアーカイブして非表示にします。非表示にしたスレッドに新しいメールが届くと、スレッドが再表示されます。ただし、ミュートした場合は、自分のメールアドレスがTo／Cc欄に入っていないメールが届いても非表示のままです。 **迷惑メールを報告:**スレッドを迷惑メールとして報告します。

memo

◎アーカイブ／ミュートして非表示にしたスレッドは、受信トレイで[ ]→[すべてのメール]と操作すると表示できます。
受信トレイに再表示する場合は、スレッドをロングタッチ→[ ]→「受信トレイ」をタップしてチェックを付ける→[OK]と操作します。

◎本製品ではラベルを作成できません。GmailのWebサイトで作成してください。

◎スレッドを表示したときに「既読メール:」と表示されたときは、既読メールが省略されています。
[既読メール:]→表示された既読メールをタップすると、既読メールを表示できます。

メール受信時の動作を設定する

メールが受信トレイに届いたときの動作を設定します。

1 受信トレイで[⋮]→[ラベルの設定]

2 必要な項目を設定

メール着信通知	チェックを付けると、新着メールを受信したときに画面上部のステータスバーに「✉」が表示されます。
着信音	新着メールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	新着メールを受信したときに振動でお知らせするかどうかを設定します。
最初の新着メールのみ通知	新着メールをお知らせするときに、新着メールごとにお知らせするかどうかを設定します。 チェックを付けると、新着メールを同時に複数受信してもお知らせは1回になります。

インターネットに接続する

本製品では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶ P.77「パケット通信」)
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶ P.78「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」)

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

ブラウザを利用する

インターネットのWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で[ ]

URL表示欄を利用する

画面上部に表示されるURL表示欄にURLを入力してサイトを表示したり、キーワードを入力して検索できます。

1 Webページ表示中にURL表示欄をタップ→URL／キーワードを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

2 URL表示欄の[移動]／表示したい情報をタップ

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力して「移動」をタップしたときは、「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します。
検索エンジンは、Webページ表示中に[メニュー]→[設定]→[高度な設定]→[検索エンジンの設定]→検索エンジンをタップして設定します。

Webページの表示位置を移動する

上下左右、斜めにスライドすると、ページの表示位置を移動できます。

Webページを拡大表示する

ダブルタップすると拡大表示できます。もう一度ダブルタップすると元の表示に戻ります。
ピンチイン／ピンチアウトで拡大／縮小することもできます。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

ブックマークに登録する

1 登録するWebページ表示中に[メニュー]→[追加先]→[ブックマーク]

2 ブックマークの内容を確認→[完了]

ブックマークを利用する

1 Webページ表示中に[メニュー]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークをタップ

memo

◎ブックマーク画面で削除するブックマークをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作すると、ブックマークを削除できます。

履歴を確認する

1 Webページ表示中に[メニュー]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 表示するWebページをタップ

memo

◎履歴画面で[メニュー]→[すべてを消去]→[OK]と操作すると、すべての履歴を削除できます。

◎Webページ表示中に[<]をロングタッチしても、履歴画面を表示できます。

ホームページを設定する

1 **Webページ表示中に[メニュー]→[設定]→[全般]→[ホームページを設定]→ホームページを設定**

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleが提供する動画共有サービスです。動画の視聴、検索、アップロードなどができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTubeアカウントが必要です。

1 **ホーム画面で[▦]→[YouTube]**
YouTube画面が表示されます。

2 **再生する動画を選択**
動画再生中に画面をタップすると、一時停止／再生の切り替えができます。

memo

◎ YouTubeアカウントを取得する場合は、YouTubeのサイトにアクセスしてください。

◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面で[⋮]→[ヘルプ]と操作して確認してください。

ニュースや天気を確認する

ニュースと天気を確認する

位置情報をもとにした天気予報、ニュース、スポーツ、エンターテイメントなどの各種情報がチェックできます。

1 **ホーム画面で[▦]→[ニュースと天気]**
ニュースと天気TOP画面が表示されます。
画面上部のタブをタップしたり左右にフリックして、天気予報やニュースの画面を切り替えることができます。

■ ニュースと天気のメニューを利用する

天気予報の地域や取得するニュースのカテゴリ、更新の設定をします。

1 **ホーム画面で[▦]→[ニュースと天気]→[⋮]→[設定]**

天気を利用する

現在地に加えて世界都市の天気予報も確認できます。

1 **ホーム画面で[▦]→[天気]**

タップして、他の都市を選びます。

タップして、天気予報を表示する期間を選びます。

■ 天気を表示する都市を追加する

1 **ホーム画面で[▦]→[天気]→[追加]**

2 **都市名を入力（例：札幌）→見つかった都市をタップ**

■ 天気を表示する都市を削除する／並び替える

1 **ホーム画面で[▦]→[天気]→[メニュー]→[編集]**

2 **削除する都市を選択、または都市を並び替える**
削除する場合は、削除する都市の「⊖」をタップします。
並び替える場合は、「☰」をドラッグします。

3 **[完了]**

ツール／アプリケーション

連絡先

連絡先を登録する

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手を連絡先に登録しておくと、簡単な操作で発信／メール送信できます。

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

2 [追加]

3 各項目を入力→[保存]

memo

◎本製品に登録できる連絡先の件数は、システムメモリの空き容量によって異なります。

◎アカウントの設定によっては連絡先を作成する際にアカウントを選択できる場合があり、連絡先を作成するアカウントによってデータが登録される場所が異なります。主なアカウントは次の通りです。
電話：システムメモリに登録します。
Google：システムメモリとGoogleのサーバーに登録します。

連絡先を編集する

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

2 編集する連絡先をロングタッチ→[連絡先を編集]

3 各項目を編集→[保存]

グループを設定する

連絡先をグループ分けすることができます。

1 ホーム画面で[ ]→[グループ]
グループ一覧画面が表示されます。

2 連絡先を追加するグループをタップ→[追加]

3 グループに追加する連絡先をタップしてチェックを付ける→[保存]

グループを追加する

連絡先のグループ（「スポーツジム」、「学校」など）を作成できます。

1 ホーム画面で[ ]→[グループ]
グループ一覧画面が表示されます。

2 [追加]→グループ名を入力→[保存]

memo

◎グループを編集／削除するには、グループ一覧画面でグループをロングタッチ→[グループを編集]／[グループを削除]と操作します。
ただし、お買い上げ時に用意されているグループは削除できません。

連絡先を確認する

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]→連絡先一覧画面で連絡先をタップ
詳細画面が表示されます。電話番号をタップして電話をかけたり、「 」をタップしてSMSを送信したりできます。

Friends Note

Friends Noteを利用して、「連絡先」アプリの連絡先やFacebook･TwitterなどのSNSの友達リストをまとめて管理することができます。また、電話、メール、SNSなどの連絡方法を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」（▶ P.20）をご参照ください。

1 ホーム画面で[ ]→[Friends Note]
初めて起動したときは、許可画面や利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
また、SNSアカウント登録の確認画面が表示されたときは、「今すぐ」（ここで登録する場合）または「後で」（あとで登録する場合）をタップしてください。

memo

◎利用方法などの詳細は、Friends Noteを起動して、[ ]→[設定]→[使い方]と操作すると確認できます。

コミュニケーション

ソーシャルネットワークを利用する

FacebookやTwitter、mixiなどのソーシャルネットワークで友だちとデータを共有したり、メッセージを投稿したりできます。また、ソーシャルネットワークの連絡先を、本製品の連絡先に追加することもできます。

- ソーシャルネットワークを利用するには、あらかじめ各ソーシャルネットワークのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、各ソーシャルネットワークのサイトをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[Friend Stream]

Friend Streamホーム画面が表示されます。

- サインインの確認画面が表示されたときは[はい]→アカウントを設定してください。
- 最新の情報に更新するには[メニュー]→[更新]と操作します。

メッセージを投稿する

1 Friend Streamのメイン画面で[投稿]

2 [設定]→投稿しないソーシャルネットワークをタップしてチェックを外す→[完了]

3 メッセージを入力→[投稿]

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友だちと気軽にコミュニケーションをとれます。

- Facebookを利用するには、あらかじめFacebookのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、Facebookのサイトをご参照ください。
  http://www.facebook.com/

1 ホーム画面で[▦]→[Facebook]

memo

◎Facebookホーム画面で[⋮]→[設定]と操作すると、更新間隔などを設定できます。

Twitterを利用する

つぶやきを送信したり、他人のつぶやきを閲覧できます。

- Twitterを利用するには、あらかじめTwitterのアカウントが必要です。アカウントの登録や利用方法などの詳細については、Twitterのサイトをご参照ください。
  http://www.twitter.com/

1 ホーム画面で[▦]→[Twitter]

カメラ／音楽／ゲーム

静止画／動画を撮影する

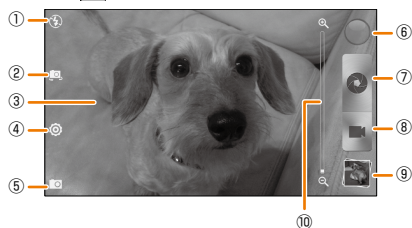
本製品のメインカメラ／正面カメラを使って、静止画や動画を撮影することができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。
- 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- フラッシュライトを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード／サイレントモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 写真撮影でファインダー画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。

- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラを起動する

1 ホーム画面で［ ］

① **フラッシュボタン**：タップして、フラッシュモードを切り替えます。
 ：自動　：強制発光　：OFF

② **カメラ切替ボタン**：タップしてメインカメラと正面カメラを切り替えます。

③ **ファインダー**：タップして、ピントをあわせる場所を設定します。

④ **設定ボタン**：タップして、撮影に関する設定を変更します。

⑤ **カメラシーンボタン**：タップして、周囲の状況にあわせたカメラシーンを選択します。

⑥ **撮影効果ボタン**：タップして、撮影効果を選択します。 が表示されている撮影効果は、静止画撮影専用です。

⑦ **シャッターボタン**：タップして、静止画を撮影します。

⑧ **録画開始ボタン**：タップして、動画を撮影／終了します。

⑨ **ギャラリーボタン**：タップして、撮影した静止画／動画を表示します。

⑩ **ズーム調節スライダー**：ドラッグして、ズーム倍率を調節できます。

memo

◎カメラを使用する前にmicroSDメモリカードを取り付けると、撮影した静止画や動画をmicroSDメモリカードに保存できます。詳しくは、「カメラの設定をする」（▶ P.56）をご参照ください。
なお、microSDメモリカードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で［ ］

2 カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ

3 ［ ］

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 「 」をロングタッチすると連写撮影できます。連写可能枚数の設定については、「カメラの設定をする」（▶ P.56）をご参照ください。

グループショット撮影をする

最大10人までの笑顔やまばたきを認識し、連写した中から最高の1枚を合成します。

1 ホーム画面で［ ］

2 ［ ］→［グループ写真］

3 カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ

4 ［ ］

シャッター音が連続で鳴り、合成された写真が表示されます。

memo

◎設定によってはカメラで撮影した静止画に位置情報が記録される場合があります。静止画を共有する場合はご注意ください。
位置情報の記録を希望しない場合は、次の操作でカメラの設定を変更してください。
ホーム画面で［ ］→［ ］→［カメラオプション］→「Geo-tag写真」をタップしてチェックを外します。

動画を撮影する

1 ホーム画面で［ ］

2 カメラを被写体に向ける→ピントを合わせる場所をタップ

3 ［ ］

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

4 ［ ］

撮影終了音が鳴り、撮影が終了します。

カメラの設定をする

1 ホーム画面で［ ］→［ ］

2 必要な項目を設定

セルフタイマー	セルフタイマー撮影をします。 「オフ」「2秒」「5秒」「10秒」
アスペクトと解像度	静止画の大きさを設定します。 **■メインカメラ** **「ワイドスクリーン」の設定がオンの場合** ･「大（16:9 | 3264×1840）」 ･「中（16:9 | 2592×1456）」 ･「小（16:9 | 2048×1152）」 **「ワイドスクリーン」の設定がオフの場合** ･「大（4:3 | 3264×2448）」 ･「中（4:3 | 2592×1952）」 ･「小（4:3 | 2048×1536）」 **■正面カメラ** **「ワイドスクリーン」の設定がオンの場合** ･「大（16:9 | 1920×1088）」 ･「小（16:9 | 640×368）」 **「ワイドスクリーン」の設定がオフの場合** ･「大（4:3 | 1440×1088）」 ･「小（4:3 | 640×480）」
ビデオ品質	動画の大きさを設定します。 ･「Full HD（1920×1080）」 ･「HD（1280×720）」 ･「高（640×480）」 ･「低（320×240）」 ･「MMS（176×144）」

レビュー時間	撮影後に静止画や動画のプレビュー画面を表示する時間を設定します。 **レビューなし：**撮影後にプレビュー画面を表示しません。 **3秒、5秒：**設定した時間が経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。 **制限なし：**[◁]や「[↩]」をタップすると撮影画面に戻ります。	
画像調整	露出、コントラスト、彩度、シャープネスを調整します。	
ISO※1	ISO感度を設定します。 • 数字が大きいほど、暗い場所でも明るく、手振れを軽減して撮影できますが、画像は粗くなります。 「自動」「100」「200」「400」「800」	
ホワイトバランス	周囲の光源にあわせて色合いを調節します。 「自動」「電球」「蛍光灯」「日光」「曇り」	
保存場所	撮影した静止画や動画を保存するストレージを選択します。 「SDカード」（microSDメモリカード）「ユーザーメモリ」（本体メモリ）	
連続撮影※1	連続撮影	「[◉]」をロングタッチしたときに連続撮影するかどうかを設定します。
	20フレームに制限	連続撮影の枚数を20枚に制限するかどうかを設定します。
	自動レビュー	連続撮影後にプレビュー画面を表示するかどうかを設定します。
カメラオプション	タッチして撮影	画面をタップすると撮影できるようにするかどうかを設定します（全面シャッター）。
	顔検出※1	人の顔を検出して、ピントを合わせるかどうかを設定します。
	自動笑顔撮影※1	笑顔を検出したときに自動的に撮影するかどうかを設定します。
	Geo-tag写真	静止画に詳細な撮影場所を示す位置情報を付けるかどうかを設定します。 • 位置情報を付けると、静止画の撮影場所を特定できます。静止画を共有する場合はご注意ください。 位置情報の記録を希望しない場合は、オフにしてください。
	ミラー画像を保存※2	左右反転した画像を保存するかどうかを設定します。
ビデオオプション	ビデオスタビリゼーション※1	動画撮影時の手振れを軽減するかどうかを設定します。
	音声も録音	動画撮影時に音声を録音するかどうかを設定します。
	ステレオ録音	動画撮影時に音声をステレオ録音するかどうかを設定します。
カメラのインターフェース	グリッド	静止画撮影の目安になるガイドを表示するかどうかを設定します。
自動アップロード	撮影した静止画や動画を、Flickrまたはau Cloudに自動的にアップロードできます。	
初期設定にリセット	カメラの設定をお買い上げ時の設定に戻します。	

※1　メインカメラで撮影するときに選択できます。
※2　正面カメラで撮影するときに選択できます。

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

静止画／動画を再生する

本体メモリやmicroSDメモリカードに保存している静止画や動画を再生できます。
また、静止画を編集したり、壁紙や連絡先のアイコンとして設定することもできます。

1　ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]→[マイフォン]
本体メモリやmicroSDメモリカードに保存している静止画や動画が表示されます。
画面左上に「イベント」と表示されているときは日付ごとに、「アルバム」と表示されているときはアルバムごとに静止画や動画が表示されます。

2　再生する静止画や動画をタップ
静止画や動画が再生されます。

memo

◎静止画を編集するには、編集する静止画を再生→画面をタップ→[編集]と操作します。

◎壁紙や連絡先アイコンとして設定するには、静止画一覧画面で静止画をロングタッチ→[設定内容]→[壁紙]／[連絡先のアイコン]と操作します。

音楽アプリで音楽を再生する

本体メモリやmicroSDメモリカードに保存した音楽ファイルを再生します。
• 再生可能な音楽ファイルは、本体メモリやmicroSDメモリカードに保存した音楽ファイルのみです。パソコンなどに保存している音楽ファイルを、あらかじめ本体メモリやmicroSDメモリカードに転送しておいてください。

1　ホーム画面で[▦]→[音楽]→[マイフォン]→再生する音楽を選択

memo

◎音楽再生中は、ロック解除画面で音楽の一時停止／再開ができます。

LISMO Playerで音楽を再生する

LISMO Playerを利用して本体メモリやmicroSDメモリカードに保存した音楽を再生したり、音楽コミュニティ「うたとも®」を利用したり、音楽情報を調べたりできます。

1　ホーム画面で[▦]→[LISMO Player]
初めて起動したときは、アクセス許可画面の内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

◎楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote®音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。

◎通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。

◎音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

ゲームで遊ぶ

本製品は以下のゲームアプリがあらかじめインストールされています。

■ Teeter

本製品の本体を傾けながら、銀色のボールを転がして穴に落とすゲームです。

1　ホーム画面で[▦]→[Teeter]

Androidアプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから、便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリをダウンロード･インストールして利用できます。

- アプリのインストール／ご利用については、「Google Play／au Market／アプリについて」(▶ P.14)をご参照ください。
- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、本体付属品の『設定ガイド』をご参照ください。

1　ホーム画面で[▦]→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。
初回起動時は利用規約をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

- 有料アプリを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払いは、auかんたん決済またはGoogleウォレットを利用します。auかんたん決済とはauのサービスで、アプリの購入代金を月々のケータイ料金と合算してお支払いいただくサービスです。Googleウォレットは Googleのサービスです。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後、一定時間内であれば返金を請求できます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ ヘルプを確認する

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Google Play画面で[⋮]→[ヘルプ]と操作します。

アプリをアンインストールする

1　ホーム画面で[▦]→[Playストア]→[⋮]→[マイアプリ]

過去にダウンロードしたアプリが一覧表示されます。

2　アンインストールするアプリをタップ→[アンインストール]→[OK]

au Marketを利用する

au Marketは、auのサービスです。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。

- 一部の機能を利用するには、au IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶ P.20)をご参照ください。

1　ホーム画面で[▦]→[au Market]

auスマートパスのページが表示されます。
初回起動時は利用規約と、ご利用にあたっての注意点が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎auスマートパスに対応していないアプリケーションは、「auポータル」の「メニューリスト」からダウンロードしてください。

◎au Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法は各アプリケーションの配信元によって異なります。

◎アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円(税込)で、500本以上のアプリ取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画･アドレス帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心･快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。
- auスマートパスを利用するには、au ID、およびauスマートパスへの登録が必要です。
  au IDの設定方法については、「au IDの設定をする」(▶ P.20)をご参照ください。
  auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「非会員の方　新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。

1　ホーム画面で[▦]→[auスマートパス]

2　アプリを選択

3　項目をタップ

アプリ取り放題	500本以上のアプリからお好きなアプリを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン＆プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
データお預かり	大切な写真や動画、アドレス帳を簡単･安心に預けることができるサービスです。
安心･セキュリティ	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

◎画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。

◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。

◎アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。

◎ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。

◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ワンセグ

ワンセグについて

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像·音声とともにデータ放送を受信することができます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS·110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ起動中は、本製品が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信感度が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車·車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより電波の受信状態が改善されます。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]→[ワンセグ視聴]

- 初めてワンセグを見るときは、チャンネルスキャンが終了するまでお待ちください。

《ワンセグ視聴画面》

① **ワンセグの電波強度**

② **明るさ調節**

③ **メニュー:**番組表を見たり、視聴するエリアを設定できます。

④ **映像:**ワンセグの映像が表示されます。
タップすると操作キーなどの表示/非表示を切り替えられます。

⑤ **操作キー**
◀/▶:チャンネルの切り替え
☰:チャンネルリストを表示
●:録画を開始
※ 操作キーが表示されないときは、映像部分をタップしてください。

⑥ **データ放送**

⑦ **データ放送操作パネル**
📺:初めのページに戻る
↩:前ページに戻る
▲/▼:カーソル移動
✓:項目の選択
■:データ放送の全画面表示切り替え

memo

◎ワンセグを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

チャンネルを切り替える

1 ワンセグ視聴画面(▶ P.59)で[チャンネルリスト]→放送局をタップ

memo

◎ワンセグ視聴画面で[チャンネル]をタップしたり、ワンセグ視聴画面の映像部分を左右にフリックしてもチャンネルを切り替えられます。

ワンセグを終了する

1 ワンセグ視聴画面(▶ P.59)で[<]→[OK]

memo

◎[⌂]をタップしてホーム画面に戻ると、ワンセグの音声をBGMとして聴くことができます。
BGM再生中は、ステータスバーに「📺」が表示されます。ステータスバーを下方向にスライドする→[ワンセグ]と操作すると、ワンセグ視聴画面に戻ります。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

memo

◎データ放送は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報から関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを本製品に登録すると、あとで関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）のデータ放送に表示されるテレビリンクをタップ

memo

◎テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

テレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［TVリンク］

テレビリンクの一覧画面が表示されます。

2 テレビリンクをタップ→画面の指示に従って操作

memo

◎ホーム画面で［▦］→［ワンセグ］→［TVリンク］と操作してもテレビリンクの一覧画面を表示できます。

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

番組表を利用する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表からワンセグ視聴画面を表示したり、視聴／録画の予約ができます。

1 ホーム画面で［▦］→［auテレビ.Gガイド］

番組表画面が表示されます。

初めて起動したときは、利用規約や視聴地域の設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

番組情報の確認やワンセグ視聴画面の表示、視聴／録画の予約などができます。

memo

◎ホーム画面で［▦］→［ワンセグ］→［Gガイド番組表］と操作してもauテレビ.Gガイドを利用できます。

ワンセグを録画する

表示中の映像･音声を録画します。録画する場合は、CPRM対応のmicroSDメモリカードを取り付けてください。

1 ワンセグ視聴画面で［録画］

録画時間と「●」が表示され、録画が開始されます。

- 操作キーが表示されないときは、映像部分をタップしてください。

2 ［●］→［はい］

録画が停止します。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。

◎録画中に⌂をタップして別の機能を利用しても録画は継続されます。
ただし、音楽やボイスレコーダーなど、利用する機能によっては録画が終了する場合があります。

◎録画中は、チャンネルの切り替えはできません。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

チャンネルや開始日時などを設定して視聴予約／録画予約できます。

1 ホーム画面で［▦］→［ワンセグ］→［予約リスト］

2 ［追加］

3 各項目を設定→［保存］

「タイプ」を「視聴」に設定すると視聴予約になり、「録画」に設定すると録画予約になります。

memo

◎番組表から番組を選んで予約するには、ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［番組表］→予約する番組の［◷］→［録画予約］／［視聴予約］と操作します。

◎auテレビ.Gガイドを利用しても番組を選んで予約できます。詳しくは、「番組表を利用する」（▶ P.60）をご参照ください。

予約時刻になると

予約時刻が近づくとステータスバーに「◷」（視聴予約）／「◷」（録画予約）が表示されます。

予約時刻になると確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。録画予約の場合は、そのまま待つとワンセグが自動的に起動して予約した番組の録画が始まります。

memo

◎予約時刻に表示される確認画面で、予約を削除したりワンセグの起動をやめることができます。

◎録画／視聴時間が過ぎると、ワンセグが自動的に終了します。

ワンセグの設定をする

字幕のオン／オフを設定する

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［設定］→［字幕］

2 ［オン］／［オフ］

スリープタイマーを設定する

指定した時間が過ぎたら自動的にワンセグが終了するように設定します。

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［設定］→［スリープタイマー］

2 時間をタップ

ワンセグが終了する時刻を指定する場合は、「手動設定」をタップします。

放送エリアを切り替える

お使いの地域（放送エリア）によって受信チャンネルは異なります。お使いの地域にあわせて切り替えてください。

放送エリアを登録する

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［エリア設定］

2 設定するエリア番号をタップ

3 地域を選択→［OK］

チャンネルスキャンが始まります。チャンネルスキャンが終了すると、チャンネルリストが表示されます。

4 視聴するチャンネルをタップ

放送エリアを切り替える

1 ワンセグ視聴画面（▶ P.59）で［メニュー］→［エリア設定］→登録済みの放送エリアをタップ

FMラジオ

本製品でFM放送を聴くことができます。

FMラジオアンテナについて

本製品にはFMラジオアンテナが内蔵されていません。FMラジオを利用するには、別売のイヤホンを接続してください。イヤホンは、なるべく伸ばしてご利用ください。
イヤホンの接続については、「イヤホンを使用する」(▶ P.99)をご参照ください。

FMラジオを聴く

1 ホーム画面で[▦]→[FMラジオ]
FMラジオ画面が表示されます。

2 [◀◀]/[▶▶]
受信状態のよい放送局を選局します。
赤いラインをドラッグしたり、「◀」/「▶」をタップすると0.1MHzごとに選局できます。

FMラジオを終了する

1 FMラジオ画面で「■」をタップ

memo

◎ ⌂や＜をタップしてFMラジオ画面を終了すると、FMラジオをBGMとして聴くことができます。
BGM再生中は、ステータスバーに「📻」が表示されます。ステータスバーを下方向にスライドする→[FMラジオ]と操作すると、FMラジオ画面に戻ります。

スピーカーとイヤホンを切り替える

1 FMラジオ画面で「🔊」をタップ

NFC/おサイフケータイ®(FeliCa)

NFC/おサイフケータイ®(FeliCa)について

NFC/おサイフケータイ®(FeliCa)とは

■ NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター機能(R/W)、機器間通信機能(P2P)などが本製品でご利用いただけます。
NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。
NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ(以下、NFCデータといいます)を書き込む必要があります。
なお、ご利用にあたっては、「NFCサービスご利用上の注意」(▶ P.105)をあわせてご参照ください。

■ おサイフケータイ®(FeliCa)

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー/ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意」(▶ P.104)をあわせてご参照ください。

NFC/おサイフケータイ®(FeliCa)ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたNFCサービス/おサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、NFC/おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびロックNo.につきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でNFC/おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。NFC/おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- NFCデータ/FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- NFCサービス/おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、NFCサービス/おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、NFC/おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。

- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、NFC／おサイフケータイ®を利用できません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
  - 機内モード中
  - スリープモード中
  - ロック解除画面表示中

リーダー／ライターとデータをやりとりする

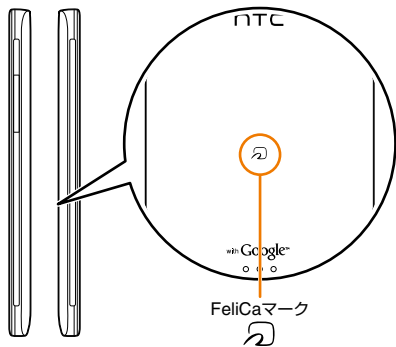
FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけで、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- FeliCaマークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

他の携帯電話とデータをやりとりする

NFC機能（Androidビーム）を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- 2台の携帯電話を平行にしてFeliCaマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- FeliCaマークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Androidビーム」を有効にしてください。
- FeliCaマークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する

1 ホーム画面で［▦］→［設定］→［詳細］→［NFC／おサイフケータイ設定］

2 項目をタップ

項目	説明
NFC／おサイフケータイロック	NFC／おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 • NFC／おサイフケータイ®機能のロックを解除する場合はロックNo.を入力→［OK］と操作します。
NFC R/W P2P	▶ P.63「NFC機能を有効にする」
Androidビーム	Androidビーム（NFC P2P機能）を利用したデータ通信ができます。 • Androidビームについては、「Androidビームでデータを送受信する」（▶ P.63）をご参照ください。
NFC／おサイフケータイロックNo.変更	NFC／おサイフケータイロックのロックNo.を変更します。 • ロックNo.を入力→新しいロックNo.を入力→再度新しいロックNo.を入力→［OK］と操作すると変更できます。
NFC／おサイフケータイロックNo.初期化	NFC／おサイフケータイロックが解除できないときに、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • PINロック解除コードを入力→［OK］→新しいロックNo.を入力→［OK］→再度新しいロックNo.を入力→［OK］と操作すると再設定できます。

memo

◎PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」（▶ P.11）をご参照ください。

NFC／おサイフケータイロックについて

◎「NFC／おサイフケータイロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイロック」を解除してください。

◎ロックNo.はau Micro IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Micro IC Card (LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号について」（▶ P.11）をご参照ください。

◎NFC／おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに「🔒」が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[詳細]→[NFC／おサイフケータイ設定]→[NFC R／W P2P]
- 非接触ICカード機能は、NFCリーダー／ライター機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Androidビームでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。
- Androidビームでデータを送受信するには、あらかじめ「NFC R／W P2P」を有効にし、「Androidビーム」を「On」に設定しておいてください。
- 「NFC／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、Androidビームをご利用できません。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

■ データを送信する

例：連絡先（顔写真なし）を1件送信する場合

1　ホーム画面で[📞]→[連絡先]→連絡先を選択→[⋮]→[連絡先を送信]→[連絡先を送信する方法]→[NFC]

2　[送信]

3　受信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる
連絡先をタップしてビームする画面が表示されます。

4　画面をタップ

■ データを受信する

1　送信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる

memo

◎アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。

1　ホーム画面で[▦]→[NFCメニュー]
NFCメニュー画面が表示されます。
NFCサービスに対応したアプリが表示されます。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2　アプリケーションを選択

■ NFCメニュー画面のメニューを利用する

1　NFCメニュー画面で[▣]

2　項目をタップ

サービス一覧更新	登録しているサービスの情報を更新します。
NFCポータルサイト	ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。
NFCロック	NFC機能をロックします。 ● 詳しくは「NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する」（▶P.62）をご参照ください。
ヘルプ	NFCメニューのヘルプを表示します。
設定	**表示タイプ変更** NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。 **カテゴリータイプ変更** カテゴリの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。 **配色変更** NFCメニュー画面の色を設定します。 **アニメーション** NFCメニュー画面をアニメーションするかどうかを設定します。 **利用規約** NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定	決済するカードを設定します。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のFeliCaマークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器間同士でFeliCaマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

おサイフケータイ®(FeliCa)を利用する

おサイフケータイ®対応サービスを利用する

利用方法などの詳細については、おサイフケータイ®画面で[⋮]→[サポートメニュー]→[操作ガイド]と操作しておサイフケータイ®の操作ガイドをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[おサイフケータイ]

おサイフケータイ®画面が表示されます。

2 [おすすめ]→サービスを選択

表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。

- サービスによっては初期登録が必要です。画面に従って操作してください。

■ おサイフケータイ®画面のメニューを利用する

1 おサイフケータイ®画面で[⋮]

2 項目をタップ

表示形式切替	表示モードを切り替えます。
サービス表示情報更新	おサイフケータイ®画面を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。 最大999ブロックまで保存可能です。
サポートメニュー	**おサイフケータイ アプリ ご利用規約** おサイフケータイ®の利用規約を表示します。 **電子マネー残高表示機能 ご利用条件** 電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。 **バージョン情報** 利用中のバージョンを確認します。 **操作ガイド** おサイフケータイ®の操作ガイドを表示します。 **設定リセット** サービス一覧情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

その他

カレンダーで予定を管理する

カレンダーは、会議やイベントなどの予定を管理するためのツールです。同期の設定をすると、WebサイトのGoogleカレンダーに登録したスケジュールが本製品のカレンダーに追加され同期することができます。

予定を登録する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]→[追加]

2 複数のカレンダーを設定している場合は、画面上部の[▼]→予定を登録するカレンダーをタップ

3 予定のタイトルなど、必要な項目を入力

「通知」を設定すると、開始日時からどのくらい前に通知するかを設定できます。

4 [保存]

memo

◎ WebサイトのGoogleカレンダーを使用すると、パーソナル、ビジネス、ファミリーなどの用途別に複数のカレンダーを作成することができます。
利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご覧ください。

通知を確認する

予定に通知を設定したときは、通知時間になるとステータスバーに「▣」が表示されます。

1 ステータスバーを下方向にスライドする→予定をタップ

2 すべての通知を消去する場合は[通知を消去]

すべての通知を約5分後にもう一度通知する場合は「すべてスヌーズ」をタップします。
通知を1件ずつ消去する場合は、通知をタップ→[通知を消去します]と操作します。

表示する単位を切り替える

カレンダーを月表示、日表示、予定リスト、会議へ招待されている予定リストで表示することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

2 [月]/[日]/[予定リスト]/[招待]

表示する単位が切り替わります。

memo

◎ 複数のカレンダーを設定している場合は、画面上部の[▼]→表示するカレンダーを選択→[<]をタップすると、表示する予定を絞り込むことができます。

◎ カレンダー画面で「今日」をタップすると、今日を含む表示に切り替わります。

◎ カレンダー画面で[メニュー]→[タブを編集]→「週」をドラッグして画面下部にドロップ→[<]と操作すると、週表示に切り替えることができるようになります。

◎ 日表示、週表示時の赤線は現在の時刻を表示しています。

予定を削除する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

2 削除する予定をロングタッチ→[予定を削除]→[OK]

「繰り返し」を設定した予定の場合、予定を登録しているカレンダーの種類によっては、削除する範囲を設定できます。[この日の予定のみ]/[これ以降の予定]/[すべての予定]→[OK]と操作してください。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。録音できる時間は、本体メモリやmicroSDメモリカードの空き容量によって異なります。

1 **ホーム画面で[▦]→[ボイスレコーダー]**
ボイスレコーダー画面が表示されます。

2 **[●]**
録音が開始されます。

3 **[■]**
録音が終了します。

4 **名前を入力→[保存]**

memo

◎音声を再生するには、ボイスレコーダー画面左上の[<]→再生する音声をタップします。

◎音声を削除するには、ボイスレコーダー画面左上の[<]→削除する音声をロングタッチ→[削除]→[OK]と操作します。

◎microSDメモリカードを取り付けて、音声の保存先を変更すると、音声をmicroSDメモリカードに保存できます。保存先を変更するには、ボイスレコーダー画面で[メニュー]→[設定]→[ストレージ]→[ユーザーメモリ](本体メモリ)／[SDカード](microSDメモリカード)と操作します。

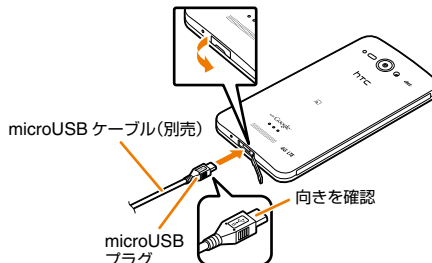
HTC Sync Managerを利用する

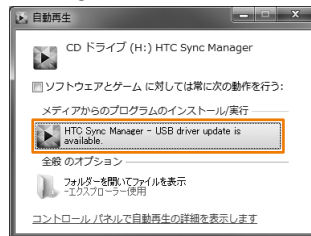
HTC Sync Managerは、本製品の連絡先やカレンダーなどを、お使いのパソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。本製品をお買い上げ時の状態へリセットするときや、ソフトウェアの更新を行う前に、HTC Sync Managerを使用して、本製品の連絡先やカレンダーなどをパソコンにバックアップし、同期することができます。
さらに以下の機能が利用できます。

- パソコン上にGoogle Play以外で購入したアプリがある場合、HTC Sync Managerを使用してパソコンから本製品にインストールできます。
- 写真、ビデオ、ドキュメント、音楽、プレイリストなどをスマートフォンに同期することができます。

パソコンにHTC Sync Managerをインストールする

HTC Sync Managerインストーラをインターネットからダウンロードして、パソコンにインストールします。

1 **本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する**
本製品に接続する際は、microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 **パソコンにHTC Sync Managerの自動再生画面が表示されたら「HTC Sync Manager」をクリックする**

《HTC Sync Managerの自動再生画面（Windows 7の場合)》

3 **画面の指示に従ってHTC Sync Managerをダウンロード／インストールする**

HTC Sync Managerに本製品を認識させる

1 **パソコンでHTC Sync Managerを起動する**

2 **本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する(▶ P.65)**

3 **本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[USBファイル共有]→[HTC Sync Manager]→[OK]**

4 **パソコンで画面の指示に従ってデバイスの設定を行う**

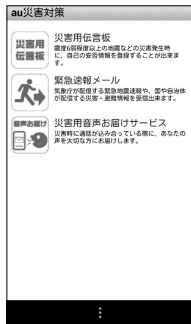
memo

◎パソコンからの操作を終了するときは、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止してから、本製品とパソコンから指定のmicroUSBケーブル(別売)を取り外してください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用できるアプリです。

1 ホーム画面で[▦]→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニューで[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（~ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定を行う」（▶ P.20）をご参照ください。

◎無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害･避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害･避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害･避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニューで[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2 項目をタップ

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報：**緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報：**災害･避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量：**受信音の音量を設定します。 **バイブ：**受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動：**マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報：**緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報：**災害･避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。

◎地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

◎津波警報とは、気象庁から配信される津波警報（大津波、津波）を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

◎災害･避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

◎日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。

◎緊急速報メールは、情報料･通信料とも無料です。

◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達･遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。

◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。

◎SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。

◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。

◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニューで[災害用音声お届けサービス]
災害用音声お届けサービス画面が表示されます。

音声を送る(送信)

1 災害用音声お届けサービス画面で[声をお届け]→①お届け先を選択※→②お届けしたい声を録音する
※ お届け先は、連絡先からも選択可能です。

音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎音声メッセージの送受信は、LTE/3Gネットワークのみで利用可能です。無線LAN(Wi-Fi®)通信などは無効にしてご利用ください。

◎音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。

◎au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です(他通信事業者の携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています)。

◎メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。

◎本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。

◎音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、青少年に不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限することができます。
お子様の年代に合わせて、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から保護者の方が簡単にアクセス制限レベルを変更することができます。
3G・LTE・Wi-Fiすべての通信経路でご利用いただけます。

- ログインするには、au IDが必要です。au IDの設定方法については「au IDの設定をする」(▶ P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[安心アクセス]
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

3 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

4 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]
利用規約を必ずご確認ください。
デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

5 [有効にする]
ウェブページが表示されます

管理者情報を登録する

1 ホーム画面で[▦]→[安心アクセス]

2 [⋮]→[その他]→[管理者登録]

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [パスワードを送付する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo

◎管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 ホーム画面で[▦]→[安心アクセス]

2 [⋮]→[その他]→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[管理者ページにログイン]

4 項目をタップ

管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可/制限などカスタマイズが可能です。

- 詳しくはauホームページをご参照ください。
  http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/smartphone/app/anshin_access/index.html

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[⋮]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」をタップします。
  サポートIDは、auお客さまサポートウェブサイト(**https://cs.kddi.com/**)にて取得できます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 項目をタップ

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	各種サポートアプリを利用できます。
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへのアクセスなどができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は「⋮」をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」の3種類のアプリを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料です。

memo

◎安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

■ 3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™ for au

- 不正アプリ対策
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック/SMSブロック
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容に関わらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能」をオフにしていると、位置情報は通知されません。
  位置情報を通知する設定については、「位置情報の設定をする」(▶ P.72)をご参照ください。
- ご契約いただいているau Micro IC Card (LTE)情報と利用開始設定時のau Micro IC Card (LTE)情報が一致している端末の検索ができます。
- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
    また、お客さまのau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

3LM Securityを利用する

安心セキュリティパックの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 auお客さまサポートのトップ画面(▶P.68)で[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[3LM Security]→[個人向け設定]

初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します]→[有効にする]と操作してください。

memo

◎ホーム画面で[▦]→[3LM Security]→[個人向け設定]でも同様に操作できます。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[リモートサポート]

起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

3 オペレータの指示に従って操作

memo

◎ホーム画面で[▦]→[リモートサポート]でも同様に操作できます。

ウイルスバスター™ for auを利用する

■ ウイルスバスター™ for auをインストールする

「ウイルスバスター™ for au」をご利用になるには、最初にアプリをインストールする必要があります。

1 auお客さまサポートのトップ画面(▶P.68)で[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[ウイルスバスター for au]→[はい]→アプリを選択

2 ステータスバーを下方向にスライドする→ダウンロードが完了した通知をタップ→[インストール]→[完了]

■ ウイルスバスター™ for auを利用する

1 auお客さまサポートのトップ画面(▶P.68)で[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[ウイルスバスター for au]

初めて起動したときは、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 項目をタップ

3 画面の指示に従って操作

memo

◎インストール後は、ホーム画面→[▦]→[ウイルスバスター]でも同様に操作できます。

◎Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

機能設定

設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN(Wi-Fi®)機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]と操作しても設定メニューを表示できます。

項目	設定内容
機内モード	通話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします(▶ P.77)。
Wi-Fi	▶ P.78「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」
Bluetooth	▶ P.80「Bluetooth®対応機器と接続する」
モバイルデータ	▶ P.77「パケット通信の設定を切り替える」 ▶ P.92「海外利用に関する設定を行う」
HTCメディアコンパニオン	HTCメディアコンパニオンデバイス(別売)とテレビをHDMIケーブルで接続し、HTCメディアコンパニオンデバイス(別売)と本製品をWi-Fi®ネットワークに接続すると、本製品の映像をテレビに表示することができます。
詳細	NFC/おサイフケータイ®などについて設定します。
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示や音の設定を行います(▶P.23、P.73、P.74)。
アカウントと同期	▶ P.72「アカウントと同期の設定をする」
位置情報	▶ P.72「位置情報の設定をする」
セキュリティ	▶ P.73「セキュリティの設定をする」
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するサービスを有効にしたり、⏻で通話を終了する設定などを行います。
バックアップとリセット	本製品の設定のバックアップについて設定したり、本製品を初期化したりできます。
ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン	▶ P.73「ディスプレイの設定をする」
Beats Audio	Beats Audioのオン/オフを切り替えられます。 ※イヤホン(別売)を接続しているときに切り替えられます。
サウンド	▶ P.73「サウンドとバイブレーションの設定をする」
通話設定	auのネットワークサービスなど、通話について設定します(▶ P.84)。
アプリケーション	アプリの管理を行います。
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモリカードのマウント/マウント解除やデータ消去をすることもできます。
電源	電池残量を確認したり、電池を使用しているアプリを確認できます。
言語とキーボード	表示言語や文字入力について設定します。
日時設定	日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。
開発者向けオプション	本製品の開発者向け機能を利用します。
バージョン情報	本製品のバージョンなどの情報を確認したり、ソフトウェアを更新します(▶ P.99)。

アカウントと同期の設定をする

アカウントを追加する

Facebook、Twitterなどのソーシャルネットワークのアカウントを本製品に設定できます。対応するソーシャルネットワークのアカウントを取得していない場合は、それぞれのサイトで取得してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントと同期]

2 [追加]→追加するアカウントをタップ→画面の指示に従って操作

アカウント設定を変更する

同期頻度や同期する情報の種類、通知方法、アカウント情報の表示形式などの設定を変更することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントと同期]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 設定を変更するアカウントの種類をタップ→設定を変更するアカウントをタップ→アカウント設定を変更

memo

◎設定できる情報はアカウントによって異なります。

◎アカウントの種類によっては、アカウント一覧画面で削除するアカウントの種類をタップ→削除するアカウントをタップ→[メニュー]→[削除]→[アカウントを削除]と操作すると、アカウントを削除できます。

位置情報の設定をする

位置情報(現在地)の測位には、Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使用する方法と、GPSを使用する方法があります。

Googleの位置情報サービスを利用する

Wi-Fi®ネットワークやモバイルネットワークを使っておおよその現在地を決定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[位置情報]→[Googleの位置情報サービス]

チェックを付けたときは確認画面が表示されますので、内容を確認して「同意する」をタップしてください。

GPS機能を利用する

人工衛星からの電波を利用して、詳細な住所を決定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[位置情報]→[GPS機能]

2 チェックを付けるときは[ON]→[<]

チェックを外すときは[緊急電話のみ]→[<]と操作します。

memo

◎建物の中など空が見えない状況では電波を受信できない場合があります。

◎チェックを付けると電池の消耗が早くなります。電池の消耗を軽減する場合はチェックを外してください。

セキュリティの設定をする

画面ロックの解除方法を設定する

起動時やスリープモードを解除したときの画面ロックの解除方法を設定することで、データを保護できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[画面ロックの設定]

すでに画面ロックの解除方法を設定しているときは、画面ロックを解除してください。

2 項目をタップ

なし	画面ロックのセキュリティを無効にします。
顔認証ロック	画面の指示に従って、顔写真を撮影します。 • 顔認証で画面ロックを解除できなかったときのために、画面ロック解除パターンまたは暗証番号を入力してください。
パターン	画面の指示に従って、画面ロック解除パターンを設定します。 • 垂直、水平、あるいは斜め方向に4つ以上の点を結びます。
暗証番号	画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。
パスワード	画面の指示に従って、4～16文字の英数字を入力します。

au ICカードロックを設定する

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防止するために、au Micro IC Card (LTE)にPINコードを設定し、起動時にPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[au ICカードロックを設定]→[au ICカードをロック]

2 PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

あらかじめ「au ICカードをロック」をオンに設定してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]→[au ICカードロックを設定]→[au IC PINを変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

ディスプレイの設定をする

画面が自動回転しないように設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→「画面の自動回転」をタップしてチェックを外す

memo

◎カメラ撮影画面など画面によっては、「画面の自動回転」の設定が反映されない場合があります。

スリープまでの時間を変更する

何も操作しない時間が続いた場合、自動的にスリープモード(画面の表示が消えた状態)になるように設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[スリープまでの時間]→スリープへ移行するまでの時間をタップ

memo

◎すぐにスリープモードにするには、(⏻)を押します。

画面の明るさを変更する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[輝度]

2 「明るさを自動調整」をタップしてチェックを外す

3 スライダーをドラッグして明るさを調節→[OK]

G-Sensorを調整する

G-Sensorは本製品の角度を検出するセンサーです。
本製品の向きに合わせて静止画やWebページの表示を回転させるときなどに、このセンサーが使われています。
誤差がある場合など、正しく動作しないときに調整してください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン]→[G-Sensorの調整]

2 本製品を机の上など平坦で水平な場所に置く

3 [調整]

調整が完了するまで本製品を動かさないでください。

4 [OK]

壁紙を変更する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[壁紙]

2 項目をタップ

HTC壁紙	本体に保存された壁紙を設定します。画像を左右にスライド→[プレビュー]→[適用]と操作します。
ライブ壁紙	アニメーション壁紙を設定します。画像を左右にスライド→[プレビュー]→[適用]と操作します。 • 壁紙によってはプレビュー画面で「設定」をタップして表示内容を設定できます。
ギャラリー	ギャラリーの画像を設定します。画像を選択→トリミング枠をドラッグ→[保存]と操作します。

サウンドとバイブレーションの設定をする

マナーモード／サイレントモードを設定する

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や通知音などをスピーカーから出さずに本製品の振動でお知らせしたり(マナーモード)、本製品からのすべての音をスピーカーから出さないように設定します(サイレントモード)。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]

2 [モード設定]→[マナー]／[サイレント]

ステータスバーに「▣」(マナーモード)／「▣」(サイレントモード)が表示されます。

■ マナーモード／サイレントモードを解除する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]→[モード設定]→[通常]

• [＋]を押しても解除できます。

memo

◎マナーモード／サイレントモードを設定した場合、イヤホンをご使用のときでも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

◎マナーモード／サイレントモード設定中でも、カメラのシャッター音やゲームの音は鳴ります。

◎[－]を次の画面が表示されるまで押しても、マナーモード／サイレントモードを設定できます。

《マナーモード》

《サイレントモード》

音量を調節する

音楽などのメディア音量、着信音量と通知音量、アラーム音量は、個別に調節できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]→[音量]

2 スライダーで音量を調節→[OK]

memo

◎[＋]／[－]を押して、着信音量と通知音量を調整することもできます。また、音楽や動画の再生中に押すと、メディア音量を調節できます。

着信音を設定する

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]→[着信音]→着信音をタップ→[適用]

memo

◎マナーモード／サイレントモード設定中は、着信音を設定できません。

通知音を設定する

新着通知の通知音を設定できます。

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]→[通知音]→設定する項目をタップ→通知音をタップ→[適用]

memo

◎マナーモード／サイレントモード設定中は、通知音を設定できません。

緊急通報音を設定する

緊急通報番号（110、119、118）の通報時に、アラート音（警告音）が鳴るように設定できます。

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[サウンド]→[緊急通報時に警告する]

2　[OFF]／[警告音]／[バイブレーション]

サウンドセットを設定する

サウンドセットを選択すると、着信音、アラームや通知音など、本製品のサウンドを一度に変更することができます。また、オリジナルのサウンドセットを登録することもできます。

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[音]→[サウンド セット]

2　設定するサウンドセットをタップ

各機能のサウンドが表示されます。各機能のサウンドを変更すると、サウンドセットに反映されます。

3　[適用]

本製品のサウンドが一度に変更されます。

■ サウンドセットを作成する

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[個人設定]→[音]→[サウンド セット]→[追加]

2　サウンドセットの名前を入力→[完了]

サウンドセットが作成されます。

3　作成したサウンドセットをタップ

各機能のサウンドが表示されます。

4　設定する項目をタップ→サウンドをタップ→[適用]

サウンドセットの設定が変更されます。

5　各機能のサウンドを変更したら[適用]

本製品のサウンドが一度に変更されます。

ストレージ／データ通信

ストレージ

ストレージについて

ストレージは、アプリや写真、動画などのデータを保存できる領域です。
本製品には、本体内の「本体メモリ」と本製品に取り付けたmicroSDメモリカードの「SDカード」の2つのストレージがあります。

本体メモリ	アプリや写真、動画などのデータを保存できます。
SDカード	写真や動画などのデータを保存できます。

memo

システムメモリについて

◎本書では、連絡先やSMSの送受信履歴などが保存されるメモリを「システムメモリ」と記載しています。

◎データをシステムメモリに保存するかどうかは、アプリによって異なります。

◎システムメモリに保存されたデータは、Eメールに添付できません。また、本製品とパソコンを接続してもUSBドライブとして利用することはできません。

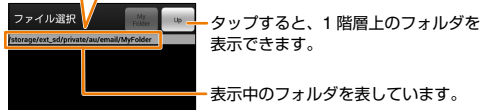
■ ストレージのデータを操作するときのご注意

アプリによっては、「ストレージ」などと表示されている項目を選択すると、SDカードが対象となる場合があります。
このとき、フォルダを選択できる場合は「/storage/sdcard0」フォルダを選択すると、本体メモリを対象にすることができます。

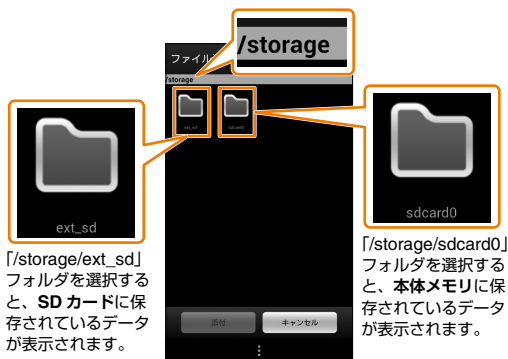
例:Eメールアプリで添付するファイルを選択する場合

「ストレージ」を選択すると、**SDカード**(/storage/ext_sd/private/au/email/MyFolder)が表示されます。

タップすると、1 階層上のフォルダを表示できます。

表示中のフォルダを表しています。

この画面で「Up」を5回タップすると「/storage」フォルダが表示されます。

「/storage/ext_sd」フォルダを選択すると、**SD カード**に保存されているデータが表示されます。

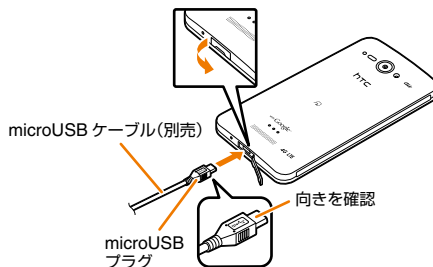
「/storage/sdcard0」フォルダを選択すると、**本体メモリ**に保存されているデータが表示されます。

memo

◎ストレージの空き容量は、ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]と操作して表示される画面で確認できます。

本体メモリやmicroSDメモリカードをUSBドライブとして利用する

本製品を指定のmicroUSBケーブル(別売)でパソコンと接続し、音楽、画像、その他のファイルをパソコンから本製品の本体メモリや、本製品に取り付けたmicroSDメモリカードにコピーすることができます。

1 本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する

本製品に接続する際は、microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[USBファイル共有]→[HTC Sync Manager]→[OK]

- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

3 パソコン側で「マイ コンピュータ」(Windows® XPの場合)/「コンピューター」(Windows Vista®/Windows® 7の場合)を開き、「HTL21」を選択

4 「SDカード」(microSDメモリカード)または「本体メモリ」(本体メモリ)を選択

本製品の本体メモリや、本製品に取り付けたmicroSDメモリカード内のファイルを直接操作することができるようになります。

5 パソコン上のファイルや本製品のファイルのコピーを行う

6 パソコンからの操作を終了するときは、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止する

7 本製品とパソコンから指定のmicroUSBケーブル(別売)を取り外す

memo

◎本体メモリまたはmicroSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、指定のmicroUSBケーブル(別売)を取り外さないでください。データが壊れるおそれがあります。

◎指定のmicroUSBケーブル(別売)で本製品とパソコンを接続しているときは、本製品の本体メモリや本製品に取り付けたmicroSDメモリカードは、本製品からは使用できません。カメラなど、本体メモリやmicroSDメモリカードを使用するアプリは、正しく動作しない場合があります。

◎Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

機内モード

通話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします。
航空機内や医療機関の中などでは携帯電話の電源をお切りください。

1 ホーム画面で［▦］→［設定］→「機内モード」の［On］／［Off］
機内モードがオンになると、ステータスバーに「✈」が表示されます。
（⏻）を2秒以上長押し→［機内モード］と操作しても機内モードのオン／オフを切り替えられます。

memo

◎医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

◎機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、機内モードが自動的にオフに設定されます。

パケット通信

パケット通信を利用する前に

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETやLTE NET for DATAでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→［▦］→［設定］→［モバイルデータ］→［アクセスポイント名］→［LTE NET for DATA］と操作してください。

memo

◎最大通信速度受信75Mbps／送信25Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

パケット通信の設定を切り替える

パケット通信は、次の操作でオン／オフを切り替えることができます。

1 ホーム画面で［▦］→［設定］→「モバイルデータ」の［On］／［Off］
パケット通信が利用できるときは、ステータスバーに「LTE」（LTE）「3G」（3G）など、パケット通信状態を表すアイコンが表示されます。

Wi-Fi®接続

無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
本製品でWi-Fi®を使用するには、あらかじめアクセスポイントを登録する必要があります。

1 ホーム画面で［▦］→［設定］

2 「Wi-Fi」の「Off」をタップして「On」にする→［Wi-Fi］

近くのWi-Fi®ネットワークが表示されます。

3 接続するアクセスポイントをタップ

オープンネットワークを選択した場合、「接続」をタップするとアクセスポイントに接続されます。
セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合、パスワード（すでに設定されたパスワード）を入力→「接続」をタップします。
接続が完了すると、ステータスバーに「 」が表示されます。

memo

◎本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36,40,44,48ch）
W53（5.3GHz帯／52,56,60,64ch）
W56（5.6GHz帯／100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

◎Wi-Fi®周波数帯域（5GHz帯／2.4GHz帯）を設定するには、ホーム画面で［▦］→［設定］→［Wi-Fi］→［メニュー］→［詳細設定］→［Wi-Fi周波数帯域］→使用するWi-Fi®周波数帯域をタップします。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 ホーム画面で［▦］→［設定］→［Wi-Fi］→［メニュー］→［ネットワークを追加］

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 ［なし］→セキュリティタイプをタップ

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 ［保存］

memo

◎手動で追加したWi-Fi®ネットワークを削除するには、ホーム画面で［▦］→［設定］→［Wi-Fi］→削除するWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークから切断］と操作します。

テザリング機能

memo

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング

本製品をワイヤレスLANホットスポットとして使用し、無線LAN（Wi-Fi®）機能対応のクライアント（パソコンなど）からインターネット接続を利用できます。
Wi-Fi®テザリングアプリは以下の無線通信規格、暗号化方式に対応しています。

- 無線通信規格：IEEE802.11a/b/g/n準拠
- 暗号化方式：OPEN（なし）、WEP（128bits）、WPA（TKIP）、WPA2（AES）

Wi-Fi®テザリングを設定する

1 ホーム画面で［▦］→［Wi-Fiテザリング］

Wi-Fi®テザリングの設定画面が表示されます。
Wi-Fi®テザリングに関する説明が表示されたときは「OK」をタップします。

2 必要な項目を設定

設定	ルーター名（SSID）	クライアントから見えるルーター名（SSID）を設定します。
	セキュリティ	無線LAN（Wi-Fi®）機能の暗号化方式を選択します。
	パスワード	クライアントとの通信を暗号化するためのパスワード（WEPキー／WPAキー）を設定します。ここで設定したWEPキー／WPAキーをクライアント側でも入力する必要があります。
ユーザー	ユーザーを管理	許可されたクライアント（ユーザー）のみ本製品に接続を許可したり、本製品への最大接続数を設定します。

Wi-Fi®テザリングをオンにする

無線LAN（Wi-Fi®）機能対応のクライアント（パソコンなど）から本製品に接続します。
この操作は「Wi-Fi®テザリングを設定する」（▶ P.78）で「許可されたユーザーのみ」にチェックを付けたかどうかで操作が異なりますので、ご注意ください。

■「許可されたユーザーのみ」にチェックを付けなかったとき

1 ホーム画面で［▦］→［Wi-Fiテザリング］→「Wi-Fiテザリング」をタップしてチェックを付ける

ステータスバーに「 」が表示されます。

2 画面の指示に従って、クライアントから本製品に接続する

■「許可されたユーザーのみ」にチェックを付けたとき

1 ホーム画面で［▦］→［Wi-Fiテザリング］→「Wi-Fiテザリング」をタップしてチェックを付ける

ステータスバーに「 」が表示されます。

2 画面の指示に従って、クライアントから本製品に接続する

クライアントが初めて本製品に接続するときはステータスバーに「 」が表示され、接続に失敗します。続けて、次の操作を行ってください。この操作はクライアントごとに一度だけ行います。

3 ステータスバーを下方向にスライドする→［接続リクエストを受信しました］

4 「接続要求」に表示されたMACアドレスが、接続を許可するクライアントのMACアドレスと一致していることを確認→［許可］

5 ［完了］

memo

◎Wi-Fi®テザリングと無線LAN（Wi-Fi®機能）（▶ P.78）は同時に使用できません。

◎クライアントの操作について詳しくは、クライアントの取扱説明書をご参照ください。

Wi-Fi®テザリングをオフにする

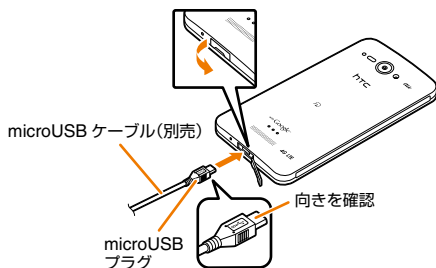
1 ホーム画面で[▦]→[Wi-Fiテザリング]→「Wi-Fiテザリング」をタップしてチェックを外す

USBテザリング

本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続すると、本製品のパケット通信(LTE/3G)によるインターネット接続をパソコンから利用できます。

USBテザリング機能を使用する

1 本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する

本製品に接続する際は、microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

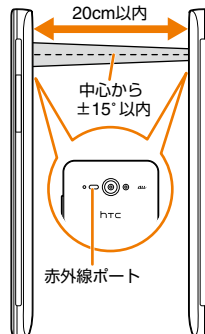
2 本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[USBを接続しました]→[USBネットワーク設定]→[USBテザリング]→[OK]

- ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

USBテザリング機能を終了する

1 本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[USBテザリング]→[USBネットワーク設定]→[なし]→[OK]

赤外線通信

本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎相手側の機器および機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れているときは、傷が付かないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
◎送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

送受信できるデータについて

◎データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や保存ができない場合があります。
◎受信したデータは、本製品の本体メモリに保存されます。

赤外線通信でデータを送受信する

赤外線通信でデータを送信する

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線]→[送信]

2 項目をタップ

ギャラリーフォト	ギャラリーの画像を選択して送信します。
マイ連絡先カード	連絡先のマイプロフィールを送信します。
連絡先カード	連絡先を選択して送信します。
アドレス帳の全連絡先	すべての連絡先を送信します。
予定アイテム	カレンダーに登録した予定を選択して送信します。

memo

◎各機能の共有メニューからデータを送信することもできます。

赤外線通信でデータを受信する

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線]

2 [受信]／[すべて受信]

「すべて受信」をタップした場合は、続けて4桁の数字（認証コード）を入力→[OK]と操作します。

赤外線がオンになると、ステータスバーに「▣」が表示されます。

3 赤外線ポート部分を相手側の赤外線ポート部分に向けてデータを受信する

4 画面の指示に従って操作

memo

◎連絡先を受信したときに、連絡先にデータを登録しなかった場合は、次の操作で登録できます。
ホーム画面で[▣]→[連絡先]→[メニュー]→[連絡先を管理]→[連絡先のインポート／エクスポート]→[本体メモリからインポート]→連絡先を登録するアカウントをタップ→画面の指示に従って連絡先データを選択します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は近距離における無線通信技術です。Bluetooth®対応機器同士であれば、約10m以内で無線通信を行うことができます。
本製品のBluetooth®機能には3つの状態があります。

状態	説明
オン	本製品は他のBluetooth®対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
オフ	このモードでは、Bluetooth®機能を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、医療機関の中などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所ではBluetooth®機能をオフにしてください。
検出可能	Bluetooth®機能がオンになっており、相手側の機器が本製品を検出できます。

Bluetooth®対応機器と接続する

あらかじめハンズフリーヘッドセットや車内ハンズフリーキットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

1 本製品のホーム画面で[▦]→[設定]→[Bluetooth]

2 「Off」をタップして「On」にする

デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスが一覧表示されます。
一覧に接続するデバイスが見つからない場合、[メニュー]→[デバイスの検索]と操作して再検索します。

3 接続するデバイスを選択→画面の指示に従って操作

Bluetooth®対応機器と接続中は、ステータスバーに「▣」が表示されます。

本製品を検出可能にする

1 本製品のホーム画面で[▦]→[設定]→[Bluetooth]

2 「Off」をタップして「On」にする

デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスが一覧表示されます。

3 本製品のデバイス名をタップする

周辺のBluetooth®対応機器に表示されるようになります。

タップすると、Bluetooth®機能のオン／オフが切り替わります。

タップすると、本製品が検出可能になります。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

Bluetooth®機能でデータを送信する

各機能の共有メニューからデータを送信できます。
送信操作は機能によって異なります。ここでは連絡先を1件送信する操作と、ギャラリーで画像を1件送信する操作を説明します。

■ 連絡先を1件送信する

1. **ホーム画面で[📞]→[連絡先]→送信する連絡先をタップ**
2. **[メニュー]→[マイプロフィールを送信]／[連絡先を送信]**
3. **[連絡先を送信する方法]→[Bluetooth]**
4. **送信する項目にチェックを付ける→[送信]**
5. **Bluetooth®対応機器をタップ**

memo

◎送信相手のBluetooth®対応機器によっては、あらかじめ受信待ち状態にする必要があります。

■ ギャラリーで画像を1件送信する

1. **ホーム画面で[▦]→[ギャラリー]→送信する画像をロングタッチ**
2. **[共有]→[その他]→[Bluetooth]**
3. **Bluetooth®対応機器をタップ**

Bluetooth®機能でデータを受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、Bluetooth®対応機器と接続してください（▶ P.80）。

1. **相手のBluetooth®対応機器からデータを受信**
   本製品のステータスバーに「▦」が表示されます。
2. **ステータスバーを下方向にスライドする→[Bluetooth共有：ファイル着信]→[承諾]**
   データの受信が完了します。
   受信したデータを確認するには、ステータスバーを下方向にスライドする→[Bluetooth共有：受信したファイル]→受信したデータをタップします。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.46
	着信お知らせサービス	P.84
	着信転送サービス	P.84
	割込通話サービス	P.86
	発信番号表示サービス	P.86
	番号通知リクエストサービス	P.87
有料オプションサービス	お留守番サービスEX	P.87
	三者通話サービス	P.90
	迷惑電話撃退サービス	P.90
	通話明細分計サービス	P.90

memo

◎有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎各サービスのご利用料金などについては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。

◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。

◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。

◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送から選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。

◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶ P.87）は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。

◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶ P.87）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。

◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送

◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

転送先を登録する

「通話設定」メニューから着信転送サービスの設定を変更する際は、あらかじめ転送先を登録する必要があります。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]**
2. **転送先電話番号を入力→[OK]**

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1. **ホーム画面で[📞]→「1422」を入力＋転送先電話番号を入力→[ダイヤル]**

   ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[無応答転送]と操作しても利用できます。

memo

◎「通話設定」メニューから着信転送サービスの設定を変更する際は、あらかじめ転送先を登録する必要があります（▶ P.84）。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[📞]→「14212」を入力→[ダイヤル]と操作して設定できます。

◎着信転送サービスの応答時間は変更できません。

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間（約30秒間）は、電話に出ることができます。

◎GSM／UMTSローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源を切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で［📞］→「1423」を入力＋転送先電話番号を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［着信転送サービス］→［話中転送］と操作しても利用できます。

memo

◎「通話設定」メニューから着信転送サービスの設定を変更する際は、あらかじめ転送先を登録する必要があります（▶ P.84）。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［📞］→「14213」を入力→［ダイヤル］と操作して設定できます。

◎話中転送と割込通話サービス（▶ P.86）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

◎GSM／UMTSローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面で［📞］→「1424」を入力＋転送先電話番号を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［着信転送サービス］→［フル転送］と操作しても利用できます。

memo

◎「通話設定」メニューから着信転送サービスの設定を変更する際は、あらかじめ転送先を登録する必要があります（▶ P.84）。

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［📞］→「14214」を入力→［ダイヤル］と操作して設定できます。

◎フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で［📞］→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→［ダイヤル］

サービス内容	番号
無応答転送	1422
話中転送	1423
フル転送	1424

2 転送先電話番号を入力

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「▦」をタップします。
転送先電話番号を国際アクセス番号から入力します。

国際アクセス番号	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番※	➡	転送先電話番号
001010 または 010		1		212		123XXXX

※ 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

3 ［通話を終了］

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で［📞］→「1420」を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［着信転送サービス］→［転送停止］と操作しても利用できます。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様がご契約以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、ご利用のau電話の着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のau電話の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶ P.11）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎GSM/UMTSローミング中は、ご利用になれません。

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[]→「1451」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[割込通話サービス]→[起動]と操作しても利用できます。

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.87)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.90)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[]→「1450」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[割込通話サービス]→[停止]と操作しても利用できます。

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中に着信を受けられます。

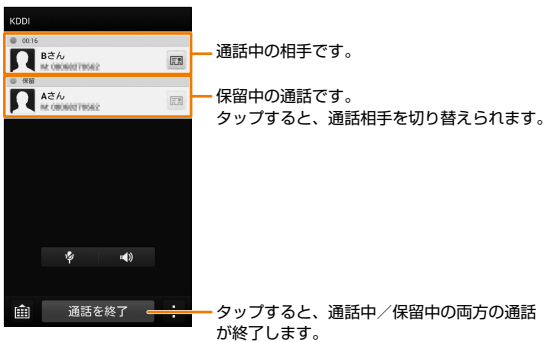
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [電話に出る]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。

◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[]→「1452」を入力+相手先電話番号を入力→[ダイヤル]

memo

◎発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。

◎割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の本製品のディスプレイに表示されるサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。

◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、電話番号が表示されません。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。

◎お留守番サービスEX（▶P.87）、着信転送サービス（▶P.84）、割込通話サービス（▶P.86）、三者通話サービス（▶P.90）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.90）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で［📞］→「1481」を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［番号リクエストサービス］→［サービス起動］と操作しても利用できます。

2 ［通話を終了］

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。

◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で［📞］→「1480」を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［番号リクエストサービス］→［サービス停止］と操作しても利用できます。

2 ［通話を終了］

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モードをオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	315円（税込）
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面で［📞］→「141」を入力→［ダイヤル］

ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［お留守番サービス］→［総合案内］と操作しても利用できます。

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する（留守番開始1）

1 ホーム画面で[📞]→「1411」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービスの開始]と操作しても開始できます。

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない（留守番開始2）

1 ホーム画面で[📞]→「1413」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービスの開始（話中転送なし）]と操作しても開始できます。

memo

◎国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本国内で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

■ お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、本製品の状態が次の場合は、お留守番サービスに転送され、留守応答します

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。

◎国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[📞]→「1410」を入力→[ダイヤル]

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービスの停止]と操作しても停止できます。

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します（▶ P.89「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」：録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」：録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」：録音した伝言を消去して、取り消す

「＊」：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[📞]→「1612」＋相手の方のau電話番号を入力→[ダイヤル]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。

伝言お知らせは、SMSで確認できます。

memo

◎同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。

◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。

◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[📞]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[伝言再生]と操作しても利用できます。

また、ホーム画面で[📞]→「1417」を入力→[ダイヤル]と操作しても利用できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

[1]：同じ伝言をもう一度聞く

[2]：伝言を保存

[4]：5秒間巻き戻して聞き直す

[5]：伝言を一時停止（20秒間）※

[6]：5秒間早送りして聞く

[9]：伝言を消去

[0]：伝言再生中の操作方法を聞く

[#]：次の伝言を聞く

[＊]：前の伝言を聞く

※「通話を終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話を終了]

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶ P.88）も同じものとして扱われます。

◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

1. **ホーム画面で［ ］→「1414」を入力→［ダイヤル］**
2. **［ ］→［1］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［通話を終了］**

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

1. **ホーム画面で［ ］→「1414」を入力→［ダイヤル］**
2. **［ ］→［2］→10秒以内で名前を録音→［#］→［#］→［通話を終了］**

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

1. **ホーム画面で［ ］→「1414」を入力→［ダイヤル］**
2. **［ ］→［3］→応答メッセージを確認→［通話を終了］**

■ 蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音する場合

1. **ホーム画面で［ ］→「1414」を入力→［ダイヤル］**
2. **［ ］→［7］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［通話を終了］**

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。

◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。

◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。

◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。

◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると録音したメッセージを取り消すことができます。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言･ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶ P.89「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1. **ホーム画面で［ ］→「1610」を入力→［ダイヤル］**
2. **ガイダンスを確認→［通話を終了］**

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言･ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1. **ホーム画面で［ ］→「1611」を入力→［ダイヤル］**
2. **ガイダンスを確認→［通話を終了］**

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言･ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様がご契約以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、ご利用のau電話のお留守番サービスの開始／停止、伝言･ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1. **090-4444-XXXXに電話をかける**
   上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言･ボイスメールの再生	1417

2. **ご利用のau電話の電話番号を入力**
3. **暗証番号（4桁）を入力**
   暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶ P.11）をご参照ください。
4. **ガイダンスに従って操作**

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1. **ホーム画面で［ ］→「14191」を入力→［ダイヤル］**
   英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
   ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［お留守番サービス］→［英語を設定］と操作しても利用できます。
2. **［通話を終了］**

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1. **ホーム画面で［ ］→「14190」を入力→［ダイヤル］**
   日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
   ホーム画面で［ ］→［設定］→［通話設定］→［au通話オプション］→［お留守番サービス］→［日本語を設定］と操作しても利用できます。
2. **［通話を終了］**

memo

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■ Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に［ ］→［通話を追加］→Bさんの電話番号を入力

• 通話追加の画面で、通話履歴や連絡先から電話番号を呼び出すこともできます。

2 ［ダイヤル］

通話中のAさんとの通話が保留となり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、［ ］→［ ］→［フラッシュ］と操作するとAさんとの通話に戻ります。

4 ［ ］

3人で通話できます。

• ［ ］→［フラッシュ］と操作すると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
• 「通話を終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。

◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。

◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。

◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービスEX（▶P.87）、着信転送サービス（▶P.84）、割込通話サービス（▶P.86）、三者通話サービス（▶P.90）、番号通知リクエストサービス（▶P.87）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を登録する

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に、次の操作を行います。

1 ホーム画面で［ ］→「1442」を入力→［ダイヤル］

memo

◎登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。

◎電話番号の通知のない着信についても登録できます。

◎国際ローミング中や、次の条件からの着信時は登録できません。
• 警察、消防機関、海上保安本部
• 公衆電話、国際電話
• SMS

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。

◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。

◎国際ローミング中には、登録／削除はできません。登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。

◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
• SMS
• 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を削除する

1 ホーム画面で［ ］→「1448」を入力→［ダイヤル］

memo

◎複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で［ ］→「1449」を入力→［ダイヤル］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先･通話時間･通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で［ ］→「131」を入力＋相手先電話番号を入力→［ダイヤル］

2 ［通話を終了］

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初に入力してください。

◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。

◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

海外利用

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM、グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- 海外ではLTEネットワークはご利用になれません。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ 海外でデータ通信を行うには

海外ローミング中にパケット通信を利用できるように設定する必要があります。詳しくは、「データローミングを設定する」(▶ P.92)をご参照ください。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ 本製品を盗難・紛失したら

速やかにauへご連絡ください

- 海外で本製品もしくはau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合は、弊社お問い合わせ先(▶ P.94)まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失されたあとに発生した通話料・パケット通信料もお客様負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され不正利用される可能性がありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶ P.73「PINコードを変更する」)

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「ダイヤル」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

■ ご利用イメージ

1. **国内では、auのネットワークでご利用になれます**
2. **PRL(ローミングエリア情報)を取得します(▶ P.92)**
3. **本製品を使用するエリアを設定します(▶ P.92)**
4. **世界のGSM／UMTS／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます**
5. **帰国したら本製品の「エリア設定」(▶ P.92)を「GSM／UMTS(海外)」以外に設定します**

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
古いPRLデータのまま利用し続けていると、海外のエリアによっては通信ができなくなることがありますので、渡航前に、必ず日本国内で最新のPRLを取得してください。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイルデータ]→[PRLを更新]→[今すぐチェック]**
   接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
   電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

◎PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。

◎エリアによっては更新できない場合があります。

エリアを設定する

渡航先に着いたら、本製品を使用するエリアを設定します。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイルデータ]→[エリア設定]**
2. **本製品を使用するエリアをタップ**

設定	説明
自動切替(国内／海外)	日本国内または海外(グローバルパスポートCDMA、グローバルパスポートGSM)でご利用になる設定です。
CDMA／LTE(国内／海外)	日本国内または海外(グローバルパスポート)でご利用になる設定です。
CDMA(国内／海外)	日本国内または海外(グローバルパスポートCDMA)でご利用になる設定です。
GSM／UMTS(海外)	海外(グローバルパスポートGSM)でご利用になる設定です。

※グローバルパスポートGSMを利用しているときは、「通信事業者」をタップして海外事業者を手動で設定できます。

データローミングを設定する

海外ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1. **ホーム画面で[▦]→[設定]→[モバイルデータ]→「データローミング」をタップしてチェックを付ける→[OK]**

memo

◎LTE NET またはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

現在地時刻を設定する

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[日時設定]→「日付と時刻の自動設定」をタップしてチェックを付ける

「日付と時刻の自動設定」をオンに設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。

GSM／UMTSローミング中は「日付と時刻の自動設定」と「タイムゾーンを自動設定」をオフにして、「日付の設定」「時間の設定」「タイムゾーンの選択」を手動で設定することができます。

CDMAローミング中は、手動での設定を行うことはできません。

memo

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。

◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

◎サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

プラスコードダイヤルを設定する

国際電話をかける際、＋（「0」をロングタッチ）を入力したときに、発信時に自動で付加される国際アクセス番号を設定します。お買い上げ時は、「001010」に設定されています。

1 ホーム画面で[ ]→[ ]→[設定]→[プラスコードダイヤル]

2 渡航先にあわせて国際アクセス番号を入力→[OK]

主な国・地域の国際アクセス番号は、「 」をタップして選択できます。

memo

◎国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」（▶ P.95）をご参照ください。

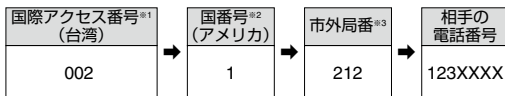
渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例：台湾からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[ ]

2 国際アクセス番号・国番号・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力→[ダイヤル]

※1 「0」をロングタッチすると「＋」が入力され、発信時に「プラスコードダイヤルを設定する」（▶ P.93）で設定した国際アクセス番号が自動で付加されます。渡航先から国外に電話をかけるときは、プラスコードダイヤルを渡航先の国際アクセス番号に変更してください。

※2 相手がグローバルパスポートを利用している場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力します。

※3 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。ただし、グローバルパスポートCDMAをご利用時のアメリカ本土、ハワイの場合は異なります。

1 ホーム画面で[ ]

2 地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

アメリカ本土・ハワイの場合は、「1」を入力→地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力します。

3 [ダイヤル]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。電話を受ける操作については、「電話を受ける」（▶ P.29）をご参照ください。

memo

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

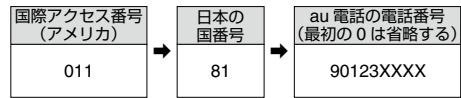
日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから韓国にいるau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力

2 発信

memo

◎国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」（▶ P.95）をご参照ください。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

渡航先の国際アクセス番号※ ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24 時間

※「0」をロングタッチすると「＋」が入力され、発信時に「プラスコードダイヤルを設定する」（▶ P.93）で設定した国際アクセス番号が自動で付加されます。渡航先から国外に電話をかけるときは、プラスコードダイヤルを渡航先の国際アクセス番号に変更してください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
北米･中南米	アメリカ	1-877-532-6223
	ブラジル	0021-800-00777113
	メキシコ	01-800-123-3426
ヨーロッパ	イギリス／ドイツ／イタリア	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
オセアニア	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223

受付時間：24時間（通話料無料）

memo

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。

◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。

◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。

◎記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国･地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24 時間（国際通話料がかかります）

memo

◎国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」（▶ P.95）をご参照ください。

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から フリーコール **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間：9:00～20:00（年中無休）

主なサービスエリアと海外での通話料

渡航先の国･地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

国･地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米･中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ･中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

◎発信先は一般電話でも携帯電話でも同一料金となります。

◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。

◎海外でのご利用料金は（通話料、パケット通信料含む）、国内の各種料金割引サービス、国内パケット通信料金額／割引サービスの対象となりません。

◎渡航先でコレクトコール･フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。

◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国･地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。

◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。

◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。

◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。

◎国･地域によっては、「ダイヤル」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。

◎2012年10月現在の情報です。

◎記載の国や通話料は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス･メッセージサービスの通信料

■ パケットサービス･メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。

◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

◎SMSは、送信が完了した時点、または、SMS蓄積時に送信料が発生します。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国･地域名	番号
アメリカ本土、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700（002）
台湾	002
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■ 国番号（カントリーコード）

国･地域名	番号	国･地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1
インド（IND）	91	ハンガリー（HUN）	36
インドネシア（IDN）	62	バングラデシュ（BGD）	880
オーストリア（AUT）	43	フィリピン（PHL）	63
オランダ（NLD）	31	フィンランド（FIN）	358
カナダ（CAN）	1	ブラジル（BRA）	55
韓国（KOR）	82	フランス（FRA）	33
ギリシャ（GRC）	30	ベトナム（VIE）	84
ジャマイカ（JAM）	1	ベルギー（BEL）	32
シンガポール（SGP）	65	ポルトガル（PRT）	351
スイス（CHE）	41	香港（HKG）	852
スウェーデン（SWE）	46	マカオ（MAC）	853
スペイン（ESP）	34	マレーシア（MYS）	60
タイ（THA）	66	メキシコ（MEX）	52
台湾（TWN）	886	ルクセンブルグ（LUX）	352
中国（CHN）	86	ロシア（RUS）	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国･地域によっては、「ダイヤル」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、パケット利用可能なアイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS送受信）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

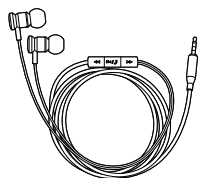
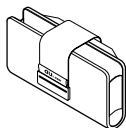
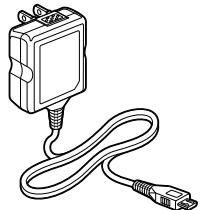
■ その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料･パケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信･各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録／索引

付録

周辺機器のご紹介

■ Beats™ by Dr.Dre™ urBeats™ インイヤー ヘッドフォン（HTL21QKW）（別売）

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）

※ お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（**http://www.au.kddi.com/**）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。

◎ 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

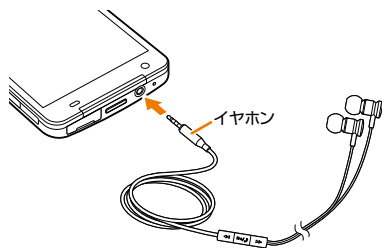
症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？ • (⏻)を長押ししていますか？	P.18 P.19
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？	P.18
充電ができない	• 指定の充電用機器（別売）は正しく取り付けられていますか？	P.18
内蔵電池を利用できる時間が短い	• 十分に充電されていますか？ • 「」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？ • 内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.10 P.18
タッチパネルで意図した通りに操作できない	• 手袋などをしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.19 P.22
画面をタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• 本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
ディスプレイの照明がすぐに消える	• 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます（スリープモード）。 • 「スリープまでの時間」が短く設定されていませんか？	P.19 P.73
画面照明が暗い	• 「輝度」（画面の明るさ）が暗く設定されていませんか？ • 暗い場所で操作していませんか？	P.73
「サービスがありません」や「」が表示される	• au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.17
電話がかけられない	• au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？ • 電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？） • 電話番号入力後、「ダイヤル」をタップしていますか？ • 「機内モード」が設定されていませんか？ • 「エリア設定」が間違っていませんか？	P.17 P.28 P.77 P.92
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？ • 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	P.24
電話がかかってこない	• au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？ • 電波は十分に届いていますか？ • サービスエリア外にいませんか？ • 電源は入っていますか？ • 「機内モード」が設定されていませんか？ • 「エリア設定」が間違っていませんか？ • 着信転送サービスが設定されていませんか？	P.17 P.19 P.24 P.77 P.84 P.92
連絡先の個別の設定が動作しない	• 相手の方から電話番号の通知はありますか？非通知で電話を受けた場合、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。	－
相手の方の声が聞こえない	• 受話音量が最小に設定されていませんか？ • 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.16
テレビ（ワンセグ）が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	• 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ • 視聴している場所がワンセグの「エリア設定」で設定した地域と合っていますか？	P.59 P.60
NFC／おサイフケータイ®が使えない	• 電池残量が無くなっていませんか？ • 「NFC／おサイフケータイロック」が設定されていませんか？ • 本製品のFeliCaマークがある位置をリーダー／ライターにかざしていますか？	P.18 P.62
microSDメモリカードを認識しない	• microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？ • microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.18
圏外アイコンが表示される	• サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • 内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.16 P.24

症状	チェックする箇所	参照先
Wi-Fi®がつながらない	• Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ • Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.78
LTEがつながらない	• サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？ • LTE機能をオンにしていますか？	P.77
GPS情報が取得できない	• 地下やトンネル内など見晴らしの悪い場所にいませんか？ • GPS機能をオンにしていますか？	P.72
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？ • 本体の温度が高くなっていませんか？	P.18 P.55
PCメールを作成できない	• PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.47

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

イヤホンを使用する

イヤホン（別売）を接続します。

1　イヤホンのプラグを本製品のステレオイヤホン端子に差し込む

ソフトウェアを更新する

本製品本体で最新のソフトウェアをダウンロードして更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェア更新時のデータのダウンロードには、Wi-Fi®機能、およびパケット通信（LTE／3G）が使用できます。
- パケット通信（LTE／3G）を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新にかかる情報料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ソフトウェア更新には、時間がかかる場合があります。更新が完了するまで、本製品は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります）。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状態（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの更新に伴う、一切の故障・動作不良・ソフトウェア設定ならびに仕様の変更などによって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

memo

◎ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアを自動更新する

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]

2　[ソフトウェア アップデート]→「定期的なチェック」をタップしてチェックを付ける→[はい]

定期的にソフトウェアの更新をチェックします。

3　システムソフトウェアの更新アイコンが表示されたらステータスバーを下方向にスライドする→更新アイコンをタップ

4　メッセージを確認し、ダウンロード方法を選択→[ダウンロード]

5　インストールを確認するメッセージが表示されたら、[今すぐインストール]→[OK]

手動で更新をチェックする

1　ホーム画面で[▦]→[設定]→[バージョン情報]

2　[ソフトウェア アップデート]→[今すぐチェック]

更新するソフトウェアがある場合は、「ソフトウェアを自動更新する」（▶ P.99）を参照してインストールしてください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。

◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。

◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。

◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。
紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは　**0077−7−113**
(通話料無料)

au電話からは　局番なしの**113**
(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは　**0120-925-919**
(通話料無料)

受付時間　9:00〜21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

■ 交換用携帯電話機お届けサービス

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	補償なし
	2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			

※金額はすべて税込

■ 預かり修理

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	無料
	2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
水濡れ、全損		お客様負担額 10,500円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ		約5.0インチ super LCD 3 FHD 1,920×1,080ドット(FHD) (最大約1,677万色)
質量		約140g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約71mm×143mm×9.2mm
メモリ(内蔵)		ROM:16GB RAM:2GB
連続通話時間	国内	約750分
	海外(GSM)	約590分
	海外(CDMA)	約1,140分
連続待受時間	国内	約270時間:LTE使用時 約360時間:3G使用時
	海外(GSM)	約270時間
	海外(CDMA)	約200時間
充電時間		共通ACアダプタ04(別売)使用時 約170分
無線LAN機能		IEEE802.11a/b/g/n準拠※1
連続テザリング時間※2		約250分: パケット通信(LTE)使用時 約540分: パケット通信(3G)使用時

※1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
※2 連続テザリング時間は、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)を1台接続している場合の時間です。

memo

◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

Bluetooth®機能

通信方式	Bluetooth® ver 4.0 BLE※1
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 対応Bluetooth®プロファイルは次の通りです。
対応Bluetooth®プロファイルは、Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
HSP(Headset Profile)
HFP(Hands-Free Profile)
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
OPP(Object Push Profile)
PBAP(Phone Book Access Profile)
HID(Human Interface Device Profile)
PAN(Personal Area Networking Profile)
DUN1.1(Dial-up Networking Profile)※3
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは[auポータル]→[メニューリスト]からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

カメラ

撮像素子	CMOS
有効画素数	メインカメラ:約800万画素 正面カメラ:約210万画素
静止画の撮影サイズ	**■メインカメラ** **「ワイドスクリーン」の設定がオンの場合** ・大:3264×1840 ・中:2592×1456 ・小:2048×1152 **「ワイドスクリーン」の設定がオフの場合** ・大:3264×2448 ・中:2592×1952 ・小:2048×1536 **■正面カメラ** **「ワイドスクリーン」の設定がオンの場合** ・大:1920×1088 ・小:640×368 **「ワイドスクリーン」の設定がオフの場合** ・大:1440×1088 ・小:640×480
動画の撮影サイズ	・Full HD:1920×1080 ・HD:1280×720 ・高:640×480 ・低:320×240 ・MMS:176×144

ワンセグ

連続視聴可能時間	約4時間30分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

アプリ一覧

アイコン名	概要
3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックできます（▶ P.69）。
うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を一人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。
おサイフケータイ	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます（▶ P.64）。
カメラ	静止画や動画を撮影できます（▶ P.56）。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます（▶ P.64）。
ギャラリー	画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます（▶ P.57）。
ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。
タスク	タスク（作業）を登録管理できます。
タスクマネージャ	実行中のアプリを表示したり停止することができます。
データ転送	Bluetooth®機能を使って他の電話機から連絡先やメッセージ、カレンダーのイベントを転送することができます。
トーク	Googleトークを使用してチャットができます。
ナビ	Googleマップナビを表示します。
ニュースと天気	位置情報をもとにした天気予報、ニュース、スポーツ、エンターテイメントなどの各種情報がチェックできます（▶ P.51）。
バーコードリーダー	進化するバーコードリーダー／アイコニット！QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。
ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。
ブラウザ	Webページを閲覧できます（▶ P.50）。
フラッシュライト	本製品の背面のフラッシュライトを点灯させます。
ボイスレコーダー	音声を録音できます（▶ P.65）。
マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。
ミラー	本製品の正面カメラを使って自分を映すことができます。
ムービーエディタ	静止画や動画、音楽を組み合わせ、テーマを選択して楽しい動画を作成できます。
メール	PCメール（複数のアカウントを使用可）を利用できます（▶ P.47）。
メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用してチャットができます。サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換できます。
メモ	メモを作成できます。
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです（▶ P.69）。
ローカル	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。
ワンセグ	ワンセグを視聴、録画できます（▶ P.59）。
安心アクセス	お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです（▶ P.67）。
音楽	音楽を再生できます（▶ P.57）。
音声検索	音声で検索できます。
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示や音の設定を行います（▶ P.23、P.73、P.74）。
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
取扱説明書	本製品の操作方法を確認できる取扱説明書（PDFファイル）をダウンロードできます。
初期設定	初期設定ウィザードで本製品を利用するための基本的な設定ができます（▶ P.20）。
赤外線	赤外線で連絡先などを送受信できます。
設定	設定メニューを表示します（▶ P.72）。
天気	現在地や他の地域の天気を表示します（▶ P.51）。
電卓	電卓を利用できます。
電話	電話をかけることができます（▶ P.28）。
連絡先	電話番号やメールアドレスなどを登録して利用できます（▶ P.54）。
AOSS	無線親機とAndroid端末とのWi-Fi®接続を、かんたんに設定できるアプリです。アプリの画面に従って無線親機のAOSSボタンを押すだけで、ワンタッチで接続できます。
au ID 設定	au IDの設定を行います（▶ P.20）。
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます（▶ P.58）。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。 また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。
auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです（▶ P.68）。
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです（▶ P.20）。
auスマートパス	月額390円（税込）で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです（▶ P.58）。
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます（▶ P.60）。
au災害対策	災害用伝言板や緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用できるアプリです（▶ P.66）。
Chrome	Webページを閲覧できます。
Dropbox	Dropboxのサービスを利用できます。
Eメール	Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができます（▶ P.32）。
Facebook	Facebookのサービスを利用できます（▶ P.55）。
FMラジオ	本製品に別売のイヤホンを接続してFMラジオが聴けます（▶ P.61）。
Friend Stream	TwitterやFacebookのSNSアカウントの最新ステータスをまとめて表示します（▶ P.55）。
Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のソーシャルネットワークサービス（SNS）の友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです（▶ P.54）。
Gmail	Gmailの送受信ができます（▶ P.49）。
Google	検索ワードを入力して、本製品内の連絡先やアプリを検索したり、Webページの検索ができます。
Google+	Googleが提供するソーシャルネットワークサービス（SNS）のクライアントアプリであるGoogle+を起動します。
GREEマーケット	GREEで提供しているゲームやコンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。（▶ P.57）。
Locations	現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などができます。
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます（▶ P.63）。
PDF ビューア	PDFファイルを閲覧できます。
Playストア	Google Playを利用できます（▶ P.58）。
Polaris Office	Office文書やテキストファイルを閲覧することができます。
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます（▶ P.46）。
SoundHound	本製品に向かって曲を口ずさむことで曲名を検索できます。
Teeter	本製品の本体を傾けながら、銀色のボールを転がして穴に落とすゲームです（▶ P.57）。
TuneIn Radio	TuneInが提供するラジオ局やオンデマンド番組から、番組を選んで聴くことができます。

アイコン名	概要
Twitter	Twitterを利用して、ツイートを投稿したり、ほかの人のツイートを読むことができます（▶ P.55）。
Wi-Fiテザリング	本製品をワイヤレスLANホットスポットとして使用することができます（▶ P.78）。
YouTube	YouTubeを利用できます（▶ P.51）。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種HTC J butterfly HTL21の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.727W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

- ○総務省のホームページ：
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- ○一般社団法人電波産業会のホームページ：
  http://www.arib-emf.org/index02.html
- ○auのホームページ：
  http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.767 W/kg@1g and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.524 W/kg@1g.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/** after searching on FCC ID NM8CDMAHTL21.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at **http://www.fcc.gov**.

DECLARATION OF CONFORMITY

(1)
If your device belongs to Class II device, please put below countries you are intended to sold.

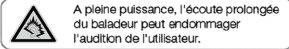
This equipment may be operated in:							
AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

(2)
Products with 2.4–GHz Wireless LAN Devices
For 2.4–GHz wireless LAN operation of this product, certain restrictions apply. This equipment may use the entire–2400–MHz to 2483.5–MHz frequency band (channels 1 through 13) for indoor applications. For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band may be used. For the latest requirements, see **http://www.art-telecom.fr**.

(3)
For the device which tests accordance to EN60950-1:2006, it is mandatory to perform audio tests for EN50332.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirment laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by Franch Article L.5232-1.

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'audition de l'utilisateur.

(4) CE SAR Information
This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For body worn operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2, for use with dedicated accessories. Use of other accessories which contain metals may not ensure compliance with ICNIRP exposure guidelines.

SAR is measured with the device at a separation of 1.5 cm to the body, while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Head: 0.421 W/kg@10g
Body: 0.451 W/kg@10g

CE 0682 ⓘ

DECLARATION OF CONFORMITY

Intended for use in EU

For the following equipment:
Smartphone
(Product Description)
CDMA HTL21
(Product Name)
HTC Corporation
(Manufacturer Name)
No.23, Xinghua Rd., Taoyuan City, Taoyuan County 330, Taiwan.
(Manufacturer Address)

is herewith confirmed to comply with the essential requirements of Article 3 of the R&TTE 1999/5/EC Directive, if used for its intended use and that the following standards has been applied:

1. **Health (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)**
   Applied standard(s): EN 50360: 2001 AC: 2006 / EN 62311: 2008 / EN 62479: 2010
   EN 62209-1: 2006 / -2: 2010
2. **Safety (Article 3.1.a of the R&TTE Directive)**
   Applied standard(s): EN 60950-1: 2006 + A11: 2009 + A1: 2010 + A12: 2011
3. **Electromagnetic compatibility (Article 3.1.b of the R&TTE Directive)**
   Applied standard(s): EN 301 489-1 V1.9.2 / -3 V1.4.1 / -7 V1.3.1 / -17 V2.1.1 / -24 V1.5.1
4. **Efficient use of the radio frequency spectrum (Article 3.2 of the R&TTE Directive)**
   Applied standard(s): EN 300 328 V1.7.1 / EN 301 893 V1.6.1 /EN 300 440-1 V1.6.1
   EN 300 440-2 V1.4.1 / EN 301 908-1 V5.2.1 / -2 V5.2.1
   EN 301 511 V9.0.2 / EN 302 291-1 V1.1.1 / -2 V1.1.1

Person responsible for making this declaration:
Calvin Huang
(Name and signature)
WM Product & Project Management Dept.
(Position / Title)
Taiwan October 22, 2012
(Place) (Date)

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1.おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2.FeliCaチップ内のデータの取扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップまたはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。

3.FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップまたはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4.不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失･盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失･盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失･盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
4. 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5.その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
   なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

NFCサービスご利用上の注意

■NFCについて

1. NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。
2. NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込みする場合があります。
3. NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供する対応サービス（以下、NFCサービスといいます）をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
4. SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■NFCデータの取り扱い等について

1. お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau Micro IC Card (LTE)へのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. au電話並びにau Micro IC Card (LTE)内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. au電話本体並びにau Micro IC Card (LTE)の故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■au電話並びにau Micro IC Card (LTE)固有の番号等の通知について

1. NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau Micro IC Card (LTE)を特定するために、当該のau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の固有番号が、当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau Micro IC Card (LTE)固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■不正利用について

1. お客さまのau電話並びにau Micro IC Card (LTE)の紛失･盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一、au電話並びにau Micro IC Card (LTE)の紛失･盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失･盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■その他

1. NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。

2. NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau Micro IC Card (LTE)内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG. Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®およびOutlook®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000 - present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright © 2000 - present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
  www.gracenote.com/corporate

- 「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- 「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- 「FeliCa」はソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter,Inc.の登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook,Inc.の登録商標です。
- Copyright 2011 Google Inc.使用許可取得済
  「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google Calendar」、「Google Checkout」、「Google Earth」、「Google Latitude」、「Google Maps」、「Googleトーク」、「Picasa」、および「YouTube」、「YouTube」ロゴは、Google Inc.の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright (C) 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- 「Flickr」は Yahoo! Inc.の商標または登録商標です。
- 「Beats Audio™」「Beats™」「Dr.Dre™」「urBeats™」および「B」ロゴに関しては、BEATSエレクトロニクス社の登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2012 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (**http://www.openssl.org/**)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ''AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】
Copyright © 1995-1998 Eric Young (**eay@cryptsoft.com**) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (**eay@cryptsoft.com**)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ''AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vista®は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basicの略称です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Homeの略称です。

■ Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

■『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI･沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の(3)項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、『au Wi-Fi SPOT』(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

(1)当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。

また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

(2)当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

(3)本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

(4)本サービスの提供は(3)項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

(5)本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。

お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

(6)国際ローミングサービスの取扱いは次によります。

①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。

②お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。

③当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。

④お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。

⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7)国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。

1)利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。

2)通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。

3)国際ローミングサービスの通信料金は、KDDI等から請求します。

(8)本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(9)お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(10)本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(11)当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
- お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- サービスの終了後の管理のため
- その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

(12)本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本規約は、2011年6月30日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年3月1日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年7月20日から実施します。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。**http://www.mpegla.com**をご参照ください。

索引

た

な

は

ま

や

ら

わ

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

**大切な地球のために、
一人ひとりができること。**

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

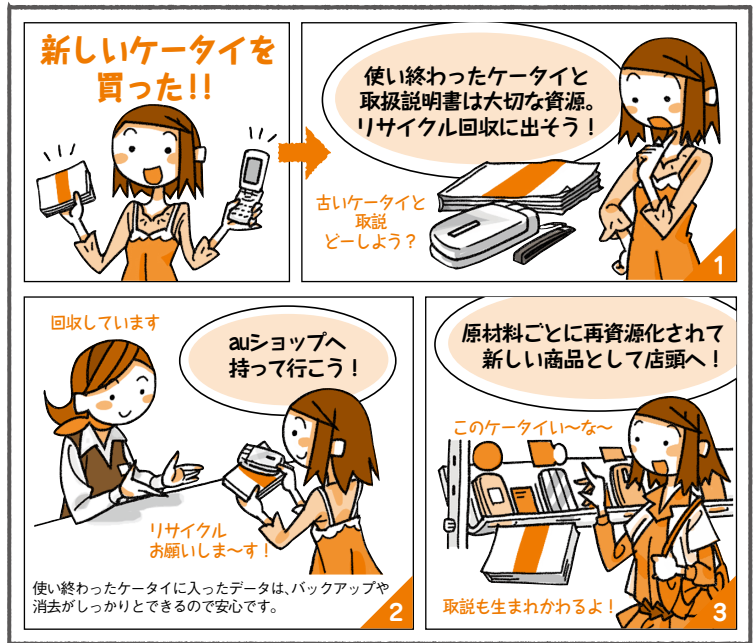
ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くの au ショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、
下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）

フリーコール 0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター
紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から

フリーコール 0120-925-919

受付時間　9:00 ～ 21:00（年中無休）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年11月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：HTC NIPPON 株式会社
製造元：HTC Corporation